

令和5年度 事業報告書

社会福祉法人 杏南会

特別養護老人ホームたちばな園

特別養護老人ホームたちばな園あすか

はじめに

令和5年度は、当法人が経営する二つの施設が安定した経営と運営ができるよう努めました。安定した経営と安定した運営の鍵となる職員の確保及び定着に向けた対策としては、令和5年度中に休日日数の増加や本来消滅する年次有給休暇を繰越し積立できる制度の導入。さらに現職員に長く勤めていただきたい思いから定年年齢の引き上げを行いました。その他、職員の確保に向け、昨年度に続き、尾鷲・熊野・新宮のハローワークが主催するミニ就職面接会に積極的に参加しました。しかし、働き手の少ないこの地域での職員採用は、非常に困難でありました。両施設ともに職員不足の関係上、満足できる施設運営ができず、法人全体の経営面に影響した年度となりましたが、限られた職員数のなかでも、常に基本理念と基本方針そして運営方針を念頭に置き、可能な限りその実現に向けて取り組みました。

職員の育成につきましては、可能な限り多くの職員が外部の研修会に参加できるよう取り組みましたが、先述のとおり、職員の不足等の影響により、満足に参加させることができませんでした。外部研修を通じた十分な人材育成に取り組むことができませんでした。研修担当職員が年間の研修計画を基にさまざま内部研修を実施したことで、職員の資質向上や技術の向上を図ることができました。引き続き、研修会等への参加を積極的に行うと共に、質の高い介護サービスが提供できるよう人材の育成に取り組んでいく必要があります。

新型コロナウイルス感染症対策につきましては、高齢者や基礎疾患のある方が感染すれば、重症化するリスクが高いことから、基本的な感染防止策を行い、施設内での感染拡大防止に努めてまいりましたが、たちばな園では、複数名の利用者や職員が罹患しました。しかし、過去に発生したクラスターの経験が活かされ、スピード感を持った蔓延防止対策を講じたことにより、感染の拡大は、最小限に抑えられたと思います。感染症は新型コロナウイルスに限らず、さまざまな感染症が存在し、これらの感染症は一定の流行が繰り返されることが予想されます。施設内で、感染者の発症が認められれば、一気に感染が広がることを念頭に置き、迅速に蔓延防止対策が講じられるよう、引き続き対応力の強化に努める必要があります。

当法人の「地域における公益的な取組」関係につきましては、日常生活又は社会生活上の支援を必要とする方に対して、無料又は低額な料金で施設福祉サービスを提供すると共に、みえ福祉の「わ」創造事業に加入して、「生活困窮者緊急食糧提供事業」「緊急時物品等支援事業」「生活困窮者就労活動支援事業」に協力。また、熊野市社会福祉法人連絡会に加入して、「5法人による熊野市食糧及び物品提供事業」に協力。更に、災害時に備えた福祉支援体制づくりとして、「災害時における福祉避難所運営による要配慮者の受け入れ」をする施設として熊野市と協定書を締結しており、大規模災害時における福祉避難所施設として協力することになっています。

特養たちばな園の関係につきましては、年度中の入所者数は21名、退所者数は20名で、令和6年3月31日現在の入所者数は定員の60名となっております。年度中の入院は22名(実数)の方が入院され、入院延べ日数は458日(昨年度307日)となり、昨年度と比較すると151日の入院増となりました。年度中のショートステイは、熊野市の方53名、御浜町の方7名、紀宝町の方7名、新宮市の方1名、合計68名(昨年度47名)の在宅の方に利用していただき、利用延べ日数は6,530日(昨年度6,890日)と昨年度と比較すると360日の利用減となりました。この結果、令和5年度の平均利用率は89.20%(昨年度94.38%)となり、昨年度よりも5.18%下回る結果となりました。

特養たちばな園あすかの関係につきましては、年度中の入居者数は9名、退居者数は20名で、令和6年3月31日現在の入居者数は48名となっております。年度中の入院は11名(実数)の方が入院され、入院延べ日数は267日(昨年度445日)となり、昨年度と比較すると178日の入院減となりましたが、6ユニットから5ユニットに稼働ユニットが減少したことが入院減の大きな要因です。年度中のショートステイは、不足する介護職員を採用することができなかつたため、ショートステイ専用居室(8床)を稼働させることができず、特養の空きベッドを利用する空床利用のみとなりました。熊野市の方3名(昨年度3名)の在宅の方に利用していただき、利用延べ日数は113日(昨年度206日)となり、昨年度と比較すると93日の利用減となりました。

以下に、令和5年度重点取り組みに対しての結果と評価及び両施設の各計画に対しての結果と評価並びに事業の結果等を報告します。

重点取り組みに対しての結果及び評価

(重点取り組み)

① 離職者をゼロにすることは法人の重要課題であることから、職員間のコミュニケーション及び相互理解を深めるための交流する場を提供できるよう取り組みます。

(結果及び評価)

コロナ禍以前は、職員間のコミュニケーション及び相互理解を深めるために、両施設の職員互助会の活動を通して、バーベキュー大会・忘年会を実施し、職員の交流する場を提供していましたが、令和5年度につきましても、新型コロナウイルスの感染を懸念し、交流する機会を設けることができませんでした。引き続き、新型コロナウイルスの感染拡大防止の観点から交流会等の開催は難しいと思われるので、飲食を伴う交流会に限らず、職員の定着・離職防止に繋がるような取り組みを検討する必要があります。

(重点取り組み)

② 両施設を利用してくださる方を確保するためにも、お世話させていただく両施設の職員全員が一定以上のサービスの提供ができるよう取り組みます。

(結果及び評価)

両施設ともに職員の資質向上や技術向上を図るため、さまざまな内部研修を計画し、研修担当者が計画的に実施することができました。

外部の研修会にも積極的に参加すると共に、引き続き、お世話させていただく両施設の職員全員が一定以上のサービス提供ができるよう、研修等を通じて育成し、ご利用者に満足していただけるサービスを提供できるよう努める必要があります。

(重点取り組み)

③ 無駄を省き、経費の削減に取り組みます。

(結果及び評価)

電気代等の水道光熱費や通信運搬費、オムツ代等の経費のデータを表にして、対前年比を職員に知ってもらうことで、経費の削減及び経費削減の意識向上に取り組みました。

経費の削減は、安定経営を維持する上で、重要であるため今後も継続し、職員全員が意識し経費の削減に努める必要があります。尚、たちばな園では、年度中に自家用太陽光発電システムを設置したことで、電気代の削減に大きな効果が得られました。

(重点取り組み)

④ ショートステイの利用率アップと空きベットを無くすよう取り組みます。

(結果及び評価)

ショートステイの利用率アップを目標に取り組みましたが、たちばな園においては、新型コロナウイルス感染症に伴うクラスター発生時に利用者の受入れを中止したことや長期入院時における空床利用の受入れができず、令和5年度のたちばな園におけるショートステイ利用率については、89.20%となり、昨年度の利用率94.38%と比較すると、5.18%下回る結果となりました。また、長期入所者の入院者日数につきましても、年間458日となり、昨年度の入院日数307日と比較しても、151日間の入院日数増となり、空床ベッドが増加する結果となりました。

来年度もショートステイの利用率アップを目標に掲げているため、目標を達成できるよう取り組むとともに、両施設の空床ベッドを極力無くし、収入の確保に努める必要があります。

(重点取り組み)

⑤ 安定した経営と運営ができる介護職員数を確保することは法人の重要課題であることから、就職面接会等に参加するなど積極的な求人活動に取り組みます。

(結果及び評価)

熊野・尾鷲・新宮の各職業安定所が主催する就職面接会等へ延べ59回参加し、介護人材の確保に努めました。その結果、複数名の介護職員を採用することができましたが、依然として介護職員数が不足している状態です。

今後も積極的に求人活動を行い、介護職員が外部研修等に参加することができる人数・年次有給休暇等を取得しても業務に支障が出ない人数・介護サービスの質の向上に繋がる人数を確保できるよう努めるとともに、採用した職員を定着させる必要があります。

(重点取り組み)

⑥ 10日以上年次有給休暇が付与される両施設の全ての職員に対して、6日以上年次有給休暇を取得できるよう取り組みます。

(結果及び評価)

年次有給休暇の取得状況を定期的に確認し、取得を促したことで、対象となる全ての職員が6日以上年次有給休暇を取得することができました。

来年度も引き続き、取得状況の把握に努め、確実に取得できるよう取り組みます。

(重点取り組み)

⑦ 地域における公益的な取組の実施に取り組みます。

(結果及び評価)

平成28年改正社会福祉法において、「地域における公益的な取組」の実施がすべての社会福祉法人の責務として規定されたことに伴い、当法人としては、みえ福祉の「わ」創造事業に加入して、「生活困窮者緊急食糧提供事業」「緊急時物品等支援事業」「生活困窮者就労活動支援事業」に協力。また、熊野市社会福祉法人連絡会に加入して、「5法人による熊野市食糧及び物品提供事業」に協力。その他、「災害時における福祉避難所運営による要配慮者の受け入れ」をする施設として熊野市と協定書を締結しており、大規模災害時における福祉避難所施設として協力することになっていることから、有事に備え福祉避難所訓練を実施しております。

今後もこれらの活動を継続し、多様な地域貢献活動に取り組みます。

特別養護老人ホームたちばな園関係

1 処 遇

「令和5年度の計画に対しての実施内容及び評価」

介護の目標である、思いやりを持ち、一人ひとりが、安心で、楽しく暮らせる環境を提供する為に令和5年度は10項目の処遇方針に取り組みました。

- 1.食事ケアにつきましては、焼きたての香ばしさを味わって頂く為、炭火やコンロを使用して焼き魚を提供していましたが、令和5年度は焼肉や刺身を提供させていただきました。冬場には例年通り、身体の中から温まって頂ける鍋料理を提供させて頂き、季節に応じた料理に工夫を凝らして食事を楽しんでいただきました。また、皆さんが心待ちにされているお茶会では、季節や行事に合わせたお饅頭や飲み物を提供して、眼で観て楽しみ、美味しく食べていただきました。
- 2.入浴ケアにつきましては、マンツーマン方式によりプライバシーに配慮し、出来る限りの同性介助を行い、ゆったりと安心して安全に入浴していただくことができました。
- 3.排泄ケアにつきましては、個々にあった肌触りの良いパットと紙オムツを使用、トイレ介助等の対応で快適に過ごして頂きました。また、臭いへの対策として窓の開放や消臭スプレー等で配慮しました。
- 4.口腔ケアにつきましては、毎食後に歯磨き・うがい・ガーゼ等の口腔ケア用品等を使用し、口臭や感染予防に努めました。また、例年通り11月から3月末までは、インフルエンザや風邪等の予防の為に緑茶でうがいをしていただき、感染を防ぐことができました。
- 5.認知症ケアにつきましては、優しい態度でコミュニケーションを取り、その人に合ったケアに努めました。さらに誰もが一定以上のサービスが提供できるように内部研修を定期的に行い、レベルアップを目指す必要があります。
- 6.リハビリケアにつきましては、該当者の計画を立て、残存機能の維持と低下を防ぐように努めま

した。

7. レクリエーション等につきましては、午前中の集いでは、歌やボール運動・リズム体操、午後からは、テレビやビデオ鑑賞、カラオケやゲーム等で楽しく過ごしていただきました。外出支援は、新型コロナウイルス流行の為、控えさせていただき、10月のミニ遠足ではドライブに行ったのみとなりましたが、園庭での散歩を積極的に取り入れる等ご利用者の方に楽しみを持っていただけるよう努めました。
8. 接遇につきましては、丁寧な言葉がけとまではいきませんでした。笑顔で挨拶をし、尊厳をもって接し、内部研修や職員にアンケートを取るなどをして周知させ、ケアの向上に繋がれるように努めました。さらに誰もが一定以上のサービスが提供できるように内部研修を定期的に行い、レベルアップを目指す必要があります。
9. 看取りケアにつきましては、対象者はいませんでした。
10. その他につきましては、ご利用者や家族の希望に沿った介護ができるよう、他職種と連携を密にし、安心・満足・快適な日常生活が営めるよう援助しました。また、作成した介護業務標準化マニュアルに基づき、誰もが一定以上のサービス提供ができるよう内部研修に努めました。さらに誰もが一定以上のサービスが提供できるように内部研修を定期的に行い、レベルアップを目指す必要があります。

「今後の課題」

介護技術と標準的ケアを一定以上のレベルに引き上げる為、各種内部研修を積極的に行い、専門知識や技術の向上を図り、更なる上のケアを目指し、介護職員として誇れる施設にして、地域の皆さんに安心して利用していただける施設、地域の皆さんに働いていただける(定着して)施設にしていかなければなりません。今年度は新型コロナウイルス感染症が5類へ移行したことに伴い、外部研修に参加する機会が増えました。来年度も入浴の無い日を利用して、介護技術や標準的ケアのレベルアップに向けた内部研修や行事等を充実できるようにしていく考えです。今年度も新型コロナウイルスの施設内クラスター感染が発生しました。再度この経験と反省を今後にかき立て業務を行い、ご利用者のお身体と生活を守ってまいります。

3 健康、衛生管理

「令和5年度の計画に対しての実施内容及び評価」

- ご利用者の健康を維持することにより、安心して生活していただけることを目標とし、早期発見・早期治療を行うことで、入院日数を少しでも減らすことができるように、日々各部署と連携しご利用者の体調変化を十分観察し、都度嘱託医に上申・指示を仰ぎ、必要な処置や受診などを行いました。
1. ご利用者の健康診断につきましては、外部業者に委託し、より詳しく健康調査をすることで、再検査などの指摘があれば嘱託医に上申し、家族の方に説明すると共に再検査を行い、ご利用者の健康維持に努めました。
 2. 体重測定結果につきましては、医師や栄養士と情報を共有し、介護度の高いご利用者に栄養面でも考慮しながら、食事形態や内容の工夫をすることで、低栄養の改善や褥瘡予防にも繋がりました。
 3. 服薬につきましては、医師からの指示のもと院外処方された薬剤を正確に与薬し、その後の利用者の状態等を医師に報告して、安全・確実に服薬できるようにしました。
 4. 入浴につきましては、入浴中の事故や体調変化などが無いよう、毎日、事前にご利用者の体調を観察し、必要時に嘱託医の指示を仰ぐことで安心して入浴していただくよう努めました。
 5. 看護師が不在になる夜間時間帯につきましては、オンコールにより、ご利用者の体調変化や急変などに迅速に対応できるように努めました。
 6. 感染症予防につきましては、2回目の新型コロナウイルス感染症のクラスターが令和6年3月末から発生しましたが、前回の経験を活かし各部署の迅速な対応と連携で感染の拡大を最小限にとどめる事ができました。新型コロナウイルス感染症が5類へ移行したことに伴い、新たな変更点や問題点などもあり、引き続き委員会や研修を通してマニュアルの見直し修正を行い、今年度も全職員に周知し、今後の感染対策の強化と向上に繋がっていきます。
 7. 職員健康診断の結果につきましては、施設内のクラスターの影響もあり、2次検診の再検査率を100%にすることが出来なかつたので、再度声掛け促し来年度は100%を目指します。また、ストレスチェックの評価により、高ストレスを抱えている職員に対して各部署の主たる職員は個々の職員

に対して「いつもとの違い」に注意を払い、異変にいち早く気づき、話を伺う(ラインケア)事が重要である、と産業医からアドバイスを頂きました。

「今後の課題」

今後も、ご利用者に安心して生活していただけるように努力するためにも、研修に参加するなどして、看護職員の知識・技術の向上に努め、看護職員として誇れる施設にし、地域の皆さんに安心して利用していただける施設、地域の皆さんに定着して働いていただける施設を目指していきます。また、感染対策に関しても、今後もクラスターが発生する可能性が引き続きありますので、できる限り蔓延防止できるよう、再度マニュアルの見直しと修正を行い、職員間で統一した感染対策が出来るように研修と各部署との連携を図り可能な限り短い期間で終息できるように努めていきます。

4 生活支援

「令和5年度の計画に対しての実施内容及び評価」

- 1.「ご利用者の身体の状態やニーズ等を把握し、一人ひとりのケアプランを作成し、そのサービス内容に沿ってサービスを提供します。」につきましては、ご利用者一人ひとりのニーズ等を考慮し、ご利用者それぞれの個別のケアプランを作成しました。また、サービス内容に沿ったサービスを心がけ提供することができました。
- 2.「ご利用者の心身の状態を把握するため、年2回以上モニタリングを実施し、その情報を共有し、チームケアに努めます。」につきましては、年2回以上モニタリングを実施することで、ご利用者毎の心身の状態や生活面等の情報を共有することができ、チームケアにつなげることができました。
- 3.「施設長、介護支援専門員、生活相談員、看護職員、介護職員、栄養士によるサービス担当者会議を開催し、6ヶ月ごとに一人ひとりのケアプランを見直し、作成します。なお、状態等に変化を有した場合はその都度見直しを行います。」につきましては、半年毎にご利用者一人ひとりのサービス担当者会議を開催し、現在のケアプランでいいのか、新たなニーズが発生していないか確認しケアプランを作成しました。
- 4.「ご利用者や家族からの相談には、その都度対応し、ご利用者が安心して生活できる環境づくりに努めます。」につきましては、相談があった場合には、その都度迅速に丁寧に対応しました。また、ご利用者には年4回の利用者懇談会を開催して、意見や要望を言っていただき、可能な限り実現することで、ご利用者がより安心して生活することができました。なお、言っていただいた意見や要望は、本館食堂や新館食堂等に掲示させていただきました。
- 5.「日常の相談とは別に、とくに要望、苦情に関する窓口を設け、サービスの向上と改善を図ります。」につきましては、サービスの向上と改善に努めるため、憩いの間に意見・要望投函箱を今年度も設置しました。今年度中の投函はありませんでしたが、引き続き迅速かつ丁寧な対応を心掛けます。

「今後の課題」

令和5年度も新型コロナウイルス感染症の全国的な蔓延と園内への感染防止により、ご利用者の外出の機会がほとんどありませんでしたが、身体機能を維持するため朝の体操や発声訓練を行ったりレクリエーションに参加して頂くことで心も活性化することができました。また、運動会や夏祭り、敬老会、クリスマス会等の季節の行事を催し楽しんでいただけました。新型コロナウイルス感染症が5類へ移行したことに伴い、窓越し面会から面接室での面会になり、直接家族や知人に会えることを喜んでいただけました。令和5年度も新型コロナウイルス感染症の感染具合や治療薬等の動向にもよりますが、感染するリスクが少ない時は外出していただき、屋外での爽快感を味わっていただくと思います。

苦情や相談に関する報告書が少ないため、報告書を増やす必要があります。

5 給食

「令和5年度の計画に対しての実施内容及び評価」

- 1.「食中毒を防止し、安全に美味しく食べていただく」については、食中毒の予防対策として手洗い・中心温度の確認を徹底しております。また納品時に検品、温度の測定を行い食材の品質を確認し安全に食べていただけるように努めています。消費期限の確認や異物混入を防ぐため、使用前の食材にも再度注意を払いました。また、害虫が発生しないように駆除や清掃の徹底に努めました。

温冷配膳車を利用し適温で食事を配膳できるよう努めています。また、委託業者と相談しながら、使用する食材や献立を工夫しご利用者に喜んで頂ける献立を日々検討しています。

2.「美味しく食べていただいたり、楽しみのある食事作り」については、季節感のある食材や、行事食で献立にメリハリをつけました。例えば、ご利用者の好きなお刺身やかきまぜ、寿司等を献立に組み入れ行事毎のおやつも業者に問い合わせレパートリーを増やし、ご利用者に喜んでいただけるよう努めました。また、食事に対するご利用者からの要望をできるだけ叶えられるように、利用者懇談会で出された意見や日々の要望に耳を傾け、応えられるよう努めました。

3.「ご利用者一人ひとりに応じた栄養ケアを作成する」については、毎月の体重測定で体重のチェックや日々の記録から、食事摂取量を把握し、食事時間にはできるだけ食堂に出て声をかけ食事介助することで、状態の把握に努めました。得た情報をもとにサービス担当者会議において他職種と情報交換を行い連携し、低栄養状態の改善に努めました。また、低栄養状態の予防や、不足気味の栄養素を補充するため、プロテインや食物繊維、粉寒天等の使用やビタミン飲料の使用を継続しています。通常の食事がどうしても摂れない方のために、栄養ゼリーやパワミナその他、要望があれば適切な補助食品を検討し個人に合わせた栄養補給ができるよう努めました。食事形態の随時の変更や、疾病のあるご利用者の対応などは、嘱託医や看護職員の指示のもと迅速に対応できるように努めました。

「今後の課題」

ご利用者の高齢化・重度化による誤嚥の危険性や、個々の疾病に対応した献立の作成と共に食事形態やトロミの濃度の変更、低栄養状態の改善など、多職種との連携をより密にして、迅速に対応していく必要があります。物価高騰の為にトロミ粉を変えましたが作る方により濃度が異なりムラがあります。今後はメモリ付きのマグカップを徐々に導入し、現在あるマグカップや湯呑みもお茶を入れる量の目安やトロミの量も再検討し、安定したトロミ濃度で提供出来るよう多職種と連携して取り組みたいと思います。万が一の時のために備蓄食品も、誰もが調理方法を理解し提供できるように訓練していかなければいけません。また、簡単に用意でき、ご利用者が食べられるような備蓄食品の検討も必要と考えています。備蓄のカレー缶は缶きりがないと開けられず、味付けもスパイスが効いておりご利用者が食べられるには工夫が必要なものでした。期限が近くなったのを機に真空パックで加熱しなくても良いタイプのものに切り替え、被災時の調理や準備の手間を省き、ライフラインが復旧していなくても使えるものを検討しました。カレー缶以外にもご利用者の状況ではそのまま食べにくいものもあります。今後も期限を機に実際に提供し難しいものは切り替えを検討していきたいと思えます。新型コロナウイルス感染症の全国的な蔓延の関係でストレスを感じているご利用者も見受けられます。来年度は関連委員会チームと協力し感染状況を考慮しながら少しでも園での生活を充実していただけるよう努めていきたいと思えます。

6 事故防止・防災対策

「令和5年度計画に対しての実施内容及び評価」

居室・食堂・廊下等の整理整頓を行うとともにベッドや車椅子等の定期点検を行い、ご利用者の転倒やベッドからの転落等の事故の未然防止に繋げることができました。また、センサーマットやテストールマット等の介護機器を使用し、万が一、事故が発生しても被害が軽減される対策も継続することができました。

防災対策については、5回の防災訓練(火災・大規模地震及び土砂災害想定)及び2回の防災研修、また福祉避難所運営訓練を実施し、職員の防災意識向上に繋げることができました。

「今後の課題」

今後ご利用者の事故未然防止のため、建物内外や設備の点検を行うとともに介護機器等の整備を行う必要があります。

防災対策については、急傾斜地崩壊危険区域における「土砂災害に関する避難確保計画」に基づいた総合訓練を実施しておりますが、来年度も同様に土砂災害の発生または、発生のおそれがあることを想定した訓練を繰り返し実施し、火災のみならず、大規模な自然災害が発生した際も迅速な対応ができる体制を構築していきます。

ヒヤリハット報告書と事故報告書の基準を見直す。令和5年度までは例えば転倒していても身体

に変化がなければ事故としてではなくヒヤリハットとして扱ってきたが、令和6年度からはふらつき等でもヒヤリハットとし、転倒してしまった場合には身体の状況等は考慮せず事故として扱い事故報告書を作成する。ハインリッヒの法則に則りヒヤリハット報告書の事例を数多く作成し、職員間で情報共有を行ない重大事故を未然に防いでいきます。

7 会議・委員会・研修

「令和5年度計画に対しての実施内容及び評価」

会議・委員会については、月間計画を各部署に配布して月毎の予定を事前に知らせ、各委員会のリーダーが責任を持って開催することにより、計画通り開催することができました。また行事については、行事委員をはじめ介護職員を中心にさまざまな行事を計画し、開催したことでご利用者の方に楽しんでいただけたかと思われます。研修関係につきましては、令和5年度中における外部研修への参加実人数21名、延べ人数42名。(うちオンライン研修参加実人数12名、延べ人数26名)。内部研修につきましては、開催計画数39に対して42開催(うち計画外研修3開催)という実績実績になりました。

「今後の課題」

今後ご利用者に何か生きがいを持っていただくこと、楽しんでいただけること等を検討し、安心・満足・快適な生活を営んでいただけるよう努めていく必要があります。

引き続き、職員の資質向上や技術向上を図り、職員の誰もが一定以上のサービスを提供できるよう、内部研修や外部研修等を通じて育成していく必要があります。

9 利用状況

長期利用者人員状況

月	月初日者数	性別		平均年齢	入所者数	退所者数
		男	女			
4	59	2	57	90.4	3	2
5	60	2	58	90.2	0	1
6	60	2	58	90.1	3	2
7	60	3	57	89.8	2	2
8	60	3	57	89.9	1	1
9	60	3	57	89.6	3	3
10	60	3	57	89.4	3	3
11	60	3	57	89.2	1	1
12	60	3	57	89.0	2	2
1	60	3	57	89.0	1	1
2	60	3	57	89.0	1	1
3	60	2	58	89.0	1	1
		合 計			21	20

長期利用者の出身地状況

市 町 村	熊野市	御浜町	紀宝町	新宮市	合計
年度始利用者数	46	9	3	1	59
年度末利用者数	47	8	4	1	60

長期退所者内訳

日 付	性別	年齢	本入所後の在園期間	理 由
2023/04/02	女	96	2.8年	救急搬送後死亡
2023/04/27	女	98	6.3年	老人病院入院
2023/05/23	女	96	1.7年	老人病院入院
2023/06/09	女	95	2.0年	老人病院入院
2023/06/20	女	101	5.8年	老人病院入院
2023/07/20	女	88	3.1年	長期入院見込み
2023/07/29	女	94	4.1年	老人病院入院
2023/08/24	女	98	0.5年	老人病院入院
2023/09/02	女	100	2.0年	入院中死亡
2023/09/13	女	97	0.9年	老人病院入院
2023/09/16	女	89	0.7年	老人病院入院
2023/10/02	女	103	1.4年	長期入院見込み
2023/10/06	女	93	3.8年	他施設入所
2023/10/26	女	95	7.6年	老人病院入院
2023/11/17	女	95	5.10年	老人病院入院
2023/12/20	女	91	1.0年	老人病院入院
2023/12/26	女	95	4.0年	老人病院入院
2024/01/24	女	93	4.7年	自宅看取り
2024/02/09	男	90	1.2年	老人病院入院
2024/03/24	女	95	0.5年	入院中死亡

10 処遇・介護の状況

日課等(長期利用者・短期利用者)

令和6年3月31日現在

食 事	朝食午前7時30分	昼食午前11時30分	夕食午後5時15分
オムツ交換	定時6回・随時、清拭		
シーツ交換	毎週1回、随時		
集 い	毎日 午前9時30分～		
入 浴	火曜日から日曜日 一般浴・特浴とも午前と午後		
回 診	毎週木曜日午後		
美 容	毎月1回		

日常生活の状況(長期利用者)

令和6年3月31日現在

日常生活動作		人員	日常生活動作		人員
移 動	自 立 歩 行	0	着 脱 衣	自 立	4
	付 き 添 い 歩 行	4		一 部 介 助	27
	杖 歩 行	0		全 介 助	29
	歩 行 器	2			
食 事	手 押 し 車	0	排 泄	自 立 (トイレ使用、ポータブル使用含む)	6
	車 椅 子 (自 立)	17		介 助 (トイレ使用、ポータブル使用含む)	24
	車 椅 子 (介 助)	37		オ ム ツ	30
入 浴	自 立	38	洗 面	自 立	11
	一 部 介 助	6		ベ ッ ト 上 (一 部 介 助)	24
	全 介 助	16		全 介 助	25
	一 般 浴 (自 立)	0	認 知 症	重 度	12
	一 般 浴 (一 部 介 助)	18		中 度	28
	一 般 浴 (全 介 助)	4		軽 度	15
リ フ ト 浴	0	な し		5	
特 殊 浴 (臥 床 式)	23				
特 殊 浴 (座 位 式)	15				

年齢別在園者(長期利用者)

令和6年3月31日現在

性別/年齢	67～79	80～89	90～99	100以上	計	平均年齢
男	0	2	0	0	2	85.1
女	5	28	24	1	58	89.2
計	5	30	24	1	60	88.8

在園期間の状況(長期利用者)

令和6年3月31日現在

性別/期間	1年未満	1年以上3年未満	3年以上5年未満	5年以上8年未満	8年以上10年未満	10年以上15年未満
男	1	0	0	0	1	0
女	19	19	10	8	2	0
計	20	19	10	8	3	0

性別/期間	15年以上	計
男	0	2
女	0	58
計	0	60

現員60名

熊野市47名(男性2名・女性45名)

御浜町8名(男性0名・女性8名)

紀宝町4名(男性0名・女性4名)

新宮市1名(男性0名・女性1名)

平均在園年数2.6年

11 リハビリテーション・諸活動・面会及び外出、外泊状況

リハビリテーション

種 目	回 数	備 考
体操	毎 日	
歩行訓練	毎 日	
可動域訓練	随 時	

諸活動

種 目	回 数	備 考
園 芸	月 1 回	
手 芸	月 1 回	
お 茶 会	月 1 回	
音 楽	随 時	カラオケ

面会及び外出、外泊状況

長期利用者の面会者集計(人)

月	月初日 者数	面 会 者						合計
		配偶者	兄弟	子供	孫	親族	その他	
4	59	0	0	0	0	0	0	0
5	60	1	15	67	16	40	2	141
6	60	4	4	42	9	10	7	76
7	60	7	6	40	10	11	2	76
8	60	2	8	66	27	27	0	130
9	60	2	3	44	16	19	5	89
10	60	5	4	53	3	14	1	80
11	60	11	7	38	9	14	6	85
12	60	7	2	49	20	14	6	98
1	60	4	6	51	17	20	7	105
2	60	4	1	34	3	7	3	52
3	60	6	3	29	4	18	4	64
合計	719	53	59	513	134	194	43	996

長期利用者の外出・外泊者数

月	外出者数	外 泊	
		入数	泊
4	0	0	0
5	0	0	0
6	1	0	0
7	0	0	0
8	0	0	0
9	1	0	0
10	0	0	0
11	1	0	0
12	0	0	0
1	0	0	0
2	0	0	0
3	1	0	0
合計	4	0	0

※オンライン面会(4月1日～3月31日) 窓越し面会(5/1～3/24)

対面面会(6月1日～3月24日) 3/25以降、窓越しと対面面会禁止(クラスター発生による)

短期利用者の面会者数(人)

月	面 会 者						合計	外出者数
	配偶者	兄弟	子供	孫	親族	その他		
4	0	0	0	0	0	0	0	4
5	1	0	7	2	6	2	18	15
6	1	0	2	0	0	1	4	16
7	1	5	5	1	4	2	18	9
8	0	0	6	2	2	3	13	9
9	0	0	9	1	0	5	15	9
10	2	0	20	0	5	10	37	14
11	0	1	16	2	9	6	34	9
12	0	3	17	0	1	6	27	12
1	0	0	21	7	3	7	38	12
2	1	0	16	7	3	5	32	10
3	1	4	14	2	0	5	26	14
合計	7	13	133	24	33	52	262	133

※オンライン面会(4月1日～3月31日) 窓越し面会(5/1～3/24)

対面面会(6月1日～3月24日) 3/25以降、窓越しと対面面会禁止(クラスター発生による)

※ショート実利用者数 68名

12 長期利用者の受診、入院状況

受診病名	受診延べ人数
眼科疾患(白内障・緑内障等)	38
認知症・精神疾患	29
腫瘍(良性・悪性)	26
整形外科疾患(骨折・外傷等)	25
脳外科疾患(てんかん・脳梗塞等)	17
高血圧	6
慢性関節リウマチ	6
歯科(義歯調整等)	5
外科系疾患(痔核・下血・粉瘤など)	4
ペースメーカー点検	4
結核後	3
耳鼻科疾患(耳垢除去・耳鳴りなど)	3
コロナワクチン接種	3
肺炎・気管支炎	3
泌尿器科疾患(前立腺肥大・膀胱炎など)	3
心疾患(心不全・心停止など)	2
皮膚科疾患(顔面疱疹・乾癬等)	2
婦人科疾患(卵巣・子宮筋腫等)	2
顎関節症	1
合 計	182

入院病名	入院延べ人数
心不全	5
肺炎(誤嚥性含む)	5
尿路感染症	2
骨折	2
ペースメーカー電池入れ替え	1
胆嚢炎・胆管炎	1
けいれん発作	1
敗血症	1
腎不全	1
吐下血	1
合 計	20

月	受診・園診療・入院者数				延べ入院日数	看護職緊急呼出回数	救急車搬送回数
	受診	嘱託医診療	歯科医診療	入院			
4	13	224	0	2	78	2	3
5	19	179	0	0	0	0	0
6	15	298	0	1	21	2	0
7	8	235	0	3	34	2	2
8	13	292	0	4	77	4	5
9	19	230	0	3	72	3	2
10	20	228	0	0	27	7	0
11	21	235	0	4	53	2	3
12	16	179	0	1	41	2	0
1	13	179	0	1	8	0	0
2	16	300	0	0	0	1	0
3	9	175	0	3	47	5	3
合計	182	2,754	0	22	458	30	18

※ 嘱託医診療人数は、直接及び間接診療含む

13 短期利用者の受診状況

受診病名	受診延べ人数
高血圧	39
整形外科疾患(骨折・外傷等)	22
認知症・精神疾患	21
眼科疾患(白内障・緑内障等)	18
脳外科疾患(てんかん・脳梗塞等)	10
泌尿器科疾患	7
外科系疾患(痔核・吐血など)	4
パーキンソン病	4
耳鼻科疾患(耳垢除去・耳鳴りなど)	3
腫瘍(悪性・良性)	3
皮膚科疾患(類天疱瘡・乾癬など)	3
吐血	3
顎関節症	2
慢性関節リウマチ	2
結核後	2
異食行為	1
コロナ精査	1
糖尿病	1
心疾患(心不全・心停止など)	1
合計	147

月	通院・園診療数			看護職緊急 呼出回数	救急車 搬送回数
	受診	嘱託医 診療	歯科医 診療		
4	4	63	0	2	1
5	20	48	0	1	0
6	16	90	0	0	0
7	11	74	0	0	0
8	9	82	0	0	0
9	10	69	0	0	1
10	17	84	0	1	0
11	12	71	0	0	0
12	12	56	0	0	0
1	14	56	0	2	0
2	9	86	0	2	0
3	13	59	0	0	0
合計	147	838	0	8	2

※ 嘱託医診療人数は、直接及び間接診療含む

14 園内事故状況・身体拘束状況・苦情受付状況

園内事故状況

月	日	概要	ケガ等の状態	対応・処置
5	3	誤薬	なし	介護職員から看護職員に報告 看護職員確認後、医師に連絡 家族に報告し、謝罪
	17	車椅子から滑り落ち	右第一足趾末節骨裂離骨折	介護職員から看護職員に報告 看護職員確認後、病院受診(レントゲン撮影) 骨折判明 テーピングで固定 家族に受診結果等報告、謝罪
8	9	転倒	右大腿骨転子部骨折	介護職員から看護職員に報告 看護職員確認後、病院受診(レントゲン撮影) 骨折判明 入院(手術) 家族に受診結果等報告、謝罪
12	5	転倒	左大腿骨転子部骨折	介護職員から看護職員に報告 看護職員確認後、病院受診(レントゲン撮影) 骨折判明 入院(手術) 家族に受診結果等報告、謝罪
	13	薬の過剰投与	なし	介護職員から看護職員に報告 看護職員確認後、医師に連絡 様子観察 家族に報告し、謝罪
2	20	携帯電話紛失	洗濯してしまい破損	介護職員から事務所職員に報告 探した結果、洗濯機の中で発見 確認の結果、携帯電話破損 電話ショップに携帯電話交換依頼 利用者と家族に結果等報告、謝罪

※ 上記の事故等について事故防止対策委員会を10回開催し、考えられる発生原因等を分析し、改善方法を協議し、再発防止に努めました。

身体拘束状況

A	利用者本人又は他の利用者等の生命又は身体が危険にさらされている可能性が著しく高い。
B	身体拘束その他の行動制限を行う以外に代替える看護・介護方法がない。
C	身体拘束その他の行動制限が一時的である。

※ 令和6年3月31日現在、上記のABC全て満たしている利用者は無く、身体拘束はゼロ。
身体拘束廃止委員会は、4回開催しました。

苦情受付状況

令和5年度中、第三者委員への苦情相談はなし。
苦情解決委員会は、1回開催しました。

15 長期利用者の負担額・介護度認定状況、短期利用者の利用状況

長期利用者の負担額の状況

令和6年3月31日現在

利用料本人負担額(1日)

負担額	0円	702円	706円	765円	769円	783円	787円	833円	837円	855円	900円
人数	1人	2人	1人	6人	7人	1人	1人	8人	17人	4人	1人
負担額	904円	908円	922円	計	1人1日の利用料平均負担額814円						
人数	9人	1人	1人	60人	1か月利用料平均24,420円(30日の場合)						

食費本人負担額(1日)

負担額	0円	300円	390円	650円	1,360円	1,445円	計	1人1日の食費平均負担額850.3円
人数	1人	1人	17人	18人	10人	13人	60人	1か月食費平均25,509円(30日の場合)

居住費本人負担額(1日)

負担額	0円	370円	420円	820円	855円	1,171円	計	1人1日の居住費平均負担額483.9円
人数	2人	42人	1人	2人	12人	1人	60人	1か月居住費平均14,517円(30日の場合)

長期利用者の介護度認定状況

令和6年3月31日現在

要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	計
0人	3人	16人	29人	12人	60人

令和6年3月31日現在 平均介護度3.83 (参考 令和5年3月31日現在 平均介護度3.93)

短期利用者の利用状況

月	延べ利用者数(人)	延べ日数(日)	延べ送迎回数(回)
4	21	471	4
5	21	489	8
6	24	542	8
7	27	578	12
8	24	506	14
9	26	512	10
10	27	635	13
11	25	542	11
12	25	589	12
1	23	559	7
2	25	501	13
3	23	606	11
合計	291	6,530	123

市町村	実利用者数(人)		計
	男	女	
熊野市	4	49	53
御浜町	1	6	7
紀宝町	0	7	7
新宮市	0	1	1
実数合計	5	63	68

利用定員30人→26.4.1~20人、28.4.1~19人
3.4.1~20人

令和5年度ショートステイ平均利用率 89.20%

(参考)

令和4年度ショートステイ平均利用率	94.38%
令和4年度ショート利用延べ利用者数	294人
令和4年度ショートステイ延べ日数	6,890日

16 行事实施状況

月		実施事業	内容、参加者数
6	4	ミニ運動会	大玉まわし競争、紅白玉入れ競争 (新館) 参加利用者28名 職員9名
	11		大玉まわし競争、紅白玉入れ競争 (本館) 参加利用者37名 職員12名
8	21	夏まつり	カラオケ、屋台(たこ焼き、かき氷、ジュース) ゲーム(射的、輪投げ、ヨーヨー釣り、くじ引き) 参加利用者63名 職員22名
9	15	敬老祝賀会	ドリフのズンドコ節、合唱団、西遊記、橋の爪ミサ子ショー 参加利用者数71名 職員17名
10	27	運動会	選手宣誓、ラジオ体操、玉入れ、踊り(真っ赤な太陽)、パン食い競争 参加利用者数72名、職員18名
12	25	クリスマス会	きよこの夜(ハンドベル)、ジングルベル(ハンドベル)、 赤い花のトナカイ(合唱)、クリスマスケーキとプレゼント配布 参加利用者数78名 職員18名

P10の諸活動以外で月別に実施したこと

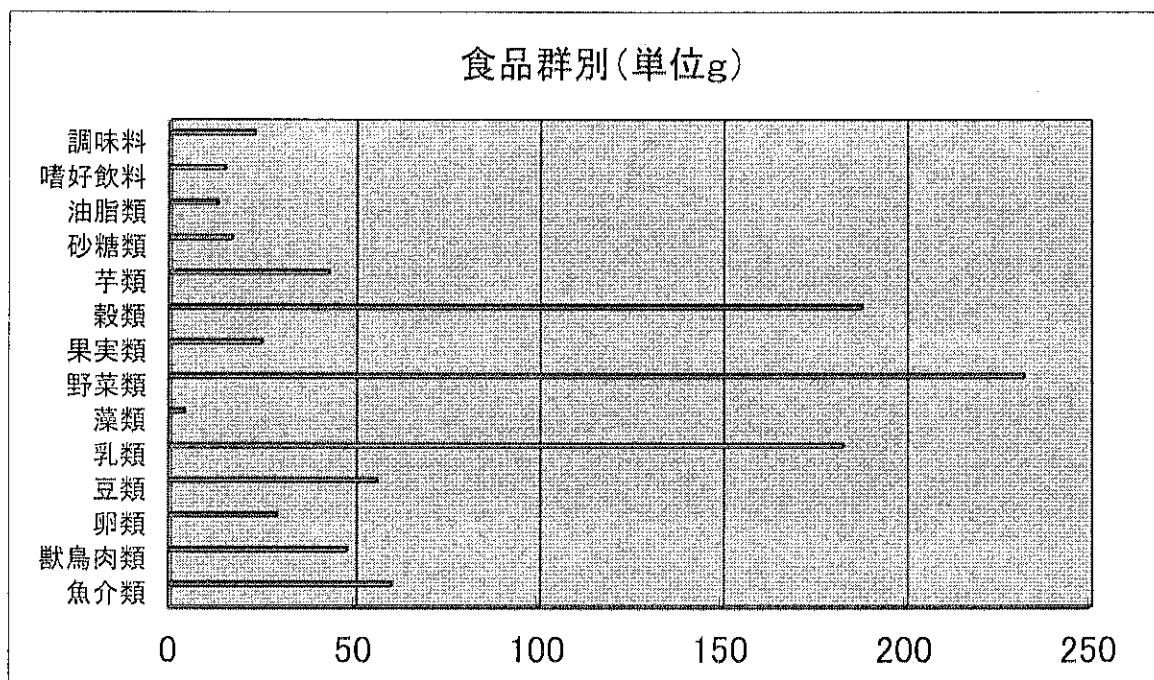
- 4月 誕生会
- 5月 外出支援(鯉のぼり見学等ドライブ)、しょうぶ湯、ゴキブリ団子作り、誕生会
- 6月 誕生会
- 7月 七夕、誕生会
- 8月 誕生会
- 9月 誕生会
- 10月 ミニ遠足(郷土方面ドライブ)、焼肉、誕生会
- 11月 誕生会
- 12月 ゆず湯、誕生会
- 1月 新年会、誕生会
- 2月 節分、誕生会
- 3月 誕生会、ひな祭り

※行事委員会は、12回開催しました。

17 給食状況

1人1日当り平均給与エネルギー 1日給与カロリー(kcal)	
月	カロリー
4	1,444
5	1,449
6	1,440
7	1,442
8	1,448
9	1,451
10	1,450
11	1,460
12	1,461
1	1,448
2	1,450
3	1,446
平均	1,449

食品群別1人 1日当り平均摂取量(g)	
食品群	量(g)
魚介類	60
獣鳥肉類	48
卵類	29
豆乳類	56
藻類	4
野菜類	232
果実類	25
穀芋類	188
砂糖類	43
油脂類	17
嗜好飲料	13
調味料	15
調味料	23



令和6年3月31日現在 長期入所者58名中

	食事内容	人
主 食	ご飯	20
	全粥	21
	粥ミキサー	17
	計	58
副 食	普通	8
	刻み	19
	超刻み	15
	ミキサー	16
	計	58
経管		0

・令和5年度給食費実績
1日1人 669円63銭

(令和4年度1日1人650円57銭)

18 施設体験・実習生・ボランティア・慰問等の受入状況

施設体験	実人数	期間
なし	0	0
合計	0	0

実習生	実人数	期間
なし	0	0
合計	0	0

ボランティア	実人数	回数
なし	0	0
合計	0	0

慰問等	回数	内容・参加人数
なし	0	
合計	0	

19 監事監査・理事会・評議員会等の開催状況

月	日	会議名	内 容	出席数					開催場所
				理事	監事	評議員	選任 解任 委員	職員	
5	15	監事監査	・令和4年度法人運営・決算関係等		2			3	たちばな園
	25	理事会	(議案事項) ・令和4年度事業報告について ・令和4年度一般会計決算について ・令和5年度第1次一般会計資金収支補正予算について ・次期役員候補者の推薦について ・定時評議員会の招集について (報告事項) ・令和4年度社会福祉充実残額算定結果について ・理事長の職務執行状況報告について	6	2			1	たちばな園
6	15	評議員会	(議案事項) ・令和4年度一般会計決算について ・次期役員を選任について (報告事項) ・令和4年度事業報告について ・令和4年度社会福祉充実残額算定結果について	1	1	6		1	たちばな園
		理事会	(議案事項) ・評議員選任・解任委員の選任について ・第三者委員の選任について ・理事長の選定について ・処遇改善手当等に関する規程の制定について	6	2			1	たちばな園
12	14	理事会	(議案事項) ・就業規則の一部改正について ・給与規程の一部改正について ・契約職員就業規則の一部改正について ・令和5年度第2次一般会計資金収支補正予算について (報告事項) ・理事長の職務執行状況報告について	6	2			1	たちばな園
3	14	理事会	(議案事項) ・令和5年度第3次一般会計資金収支補正予算について ・令和6年度役員損害賠償保険の加入について ・令和6年度事業計画について ・令和6年度一般会計資金収支予算について (報告事項) ・理事長の職務執行状況報告について	6	2			1	たちばな園

20 外部研修、講習等の状況

月 日	開催地	研修内容	出席数
5/18	多気郡多気町	接遇マナー研修会	1
5/27	WEB	介護保険サービス事業者等集団指導	1
	WEB	社会福祉法人運営研修会	2
6/8	多気郡多気町	接遇マナー研修会	1
8/9	WEB	介護労働者雇用管理責任者講習	1
8/20	WEB	会計実務者養成講座「社会福祉法人の会計書類チェックポイント」	1
8/21	尾鷲市坂場西町	公正採用選考研修会	1
8/22	WEB	採用・定年延長・就業規則人事労務経営課題解決セミナー	2
8/24	WEB	給食施設管理者研修会	1
9/7	WEB	労務管理講座①「社会福祉法人の労務管理の基礎①」	2
9/9、16、30 10/21、28	WEB	介護支援専門員資質向上研修(専門研修課程Ⅱ)	1
9/12	WEB	介護報酬改定対応研修「介護施設・事業所における虐待防止及び身体拘束等適正化について」	1
9/25			1
9/28			1
10/27	WEB	労務管理講座②「社会福祉法人の労務管理の基礎②」	2
11/8	多気郡多気町	介護技術研修	1
11/8、15、 17	WEB	認知症介護基礎研修(WEB)	1
11/30 12/7、8、10	WEB	社会福祉法人のリスクマネジメント	4
12/6	多気郡多気町	認知症介護予防レク研修	1
12/17	熊野市井戸町	三重県認知症介護基礎研修	2
1/11	多気郡多気町	リーダー育成研修	1
1/15	津市桜橋	都道府県経営協セミナー(後期)	2
1/26	熊野市井戸町	高齢者施設向け新型コロナウイルス感染症対応力向上研修	3
2/3	WEB	メディカルフォーラム2024セミナー 「その創傷どうする？栄養管理とスキンケアのいろは」	3
2/6	WEB	退職手当共済制度実務研修会	1
	WEB	給食施設従事者研修会	1
2/19	津市桜橋	技能実習責任者講習	2
3/13	多気郡多気町	救急救命・認知症ケア研修	1
合計			42

21 内部研修の状況

内部研修

月 日	研 修 内 容	出席数 (講師除く)
4/20、23、24 28、5/1、2	感染症予防対策研修 講師 看護職員	21
4/24、25、29 5/4	事故防止対策研修 講師 介護職員	33
4/27	施設利用受入研修 講師 事務職員	10
4/27、5/3、8 10、15、16 20、24	介護技術研修 講師 介護職員	30
5/12、13、14 15、19、20 23、24、27	業務標準化研修(食事) 講師 介護職員	35
5/13、15、17 21、6/5、9	褥瘡予防対策研修 講師 看護職員	32
6/3、4、6 7、9、10 12、21、22	身体拘束廃止取組研修 講師 介護職員	44
6/16、18、21 22、24、26 7/5	人権擁護・虐待防止研修 講師 介護職員	43
6/26	食中毒予防対策研修 講師 熊野保健所衛生指導課職員 魚国社員2名出席	14
6/29、7/27 8/10	医療、医薬品安全管理研修 講師 嘱託医	5
7/6、8、9 12、13、19	事故防止対策研修 講師 介護職員	29
7/16、18、19 20、24	従業者医療研修兼緊急時対応研修 講師 看護職員	30
7/22、23、24 25、27、29	認知症ケア内部研修 講師 介護職員	35
7/31	緊急時対応研修(応急手当講習) 講師 市消防署員	17
8/25、9/11、14 17、27、10/8 11/15、12/30	業務標準化研修(排泄) 講師 介護職員	30
9/4、5、10 28、29、10/13 15、16、17 19	感染症予防対策研修 講師 看護職員	34
9/19、28、10/3 14、11/1、7 10、11、13 22、23	事故防止対策研修 講師 介護支援専門員兼生活相談員	41
9/28、29、10/2 3、9、14、16 17、23、11/1 5	防犯研修 講師 事務職員	38
10/2、4、5 7、14	新任職員指導者研修 講師 介護職員	18

月 日	研 修 内 容	出席数 (請願除く)
10/9、15、28 11/3、11、 12/10、12、29 1/2	褥瘡予防対策研修 講師 看護職員	31
10/18、19、20 30、11/3、4	腰痛予防研修 講師 介護職員	33
10/24、31 11/5、12/11 12、23、31	看取りケア研修 講師 看護職員	32
11/17、21、22 29、12/1、3 6、12、22	事故防止対策研修 講師 介護職員	33
11/23	個人情報取扱研修(プライバシー保護研修含む) 講師 事務職員	8
12/5、6、10 12、19、20 30、1/9	感染症予防対策研修 講師 看護職員	34
12/15、18、19 20、22、29 30、31、1/1	業務標準化研修(入浴) 講師 介護職員	25
12/17、18、20 21、22、29 30、1/8	防災研修 講師 事務職員	34
12/23、24、31 1/4、5、11、14 16、22、2/16	身体拘束廃止取組研修 講師 介護職員	44
12/31、1/5 12、14、21 22、31	介護技術研修 講師 介護職員	30
12/8、15、17 21、1/19、28 31、2/23、24 26	人権擁護、虐待防止研修 講師 介護職員	38
1/16、18、19 21、23、3/2 7、11、13	事故防止対策研修 講師 介護職員	30
1/27、30、2/21 22、27、28 3/5、11、12 17、18、19	認知症ケア研修 講師 介護職員	36
2/2、10、11 12、17、18 21、23、3/2	尊厳・接遇マナー研修 講師 介護職員	38
2/20、24、3/1 3、4、6 10、11、15 20、25	防災研修 講師 事務職員	46
	福祉避難所運営研修 講師 事務職員	46
2/22	職員倫理研修(ハラスメント研修含む) 講師 事務職員	9
2/25、3/1、4 5、12、13 14	業務標準化研修(排泄) 講師 介護職員	29

月 日	研 修 内 容	出席数 (講師除く)
2/27、3/3、4 5、6、8 9、11、12 13、15、16 17、23、26	人権擁護・虐待防止研修 講師 介護職員	47
3/5、12、13 14、16、17 18、29	事故防止対策研修 講師 介護職員	32
3/11、13、14 16、17、18 19、22、23 25	業務標準化研修(余暇・レク) 講師 介護職員	33
2/18、19、23 25、3/4、5、9 11、13、23 24 (研修途中、6年度継続)	人権擁護・虐待防止研修 講師 看護職員	38
3/13、15、26 27 (研修途中、6年度継続)	人権擁護・虐待防止研修 講師 介護職員	37

22 外部会議等の状況

月	日	開催地	会議等の名称	出席数
5	2	WEB	三重県【施設向け】新型コロナウイルス感染症の位置付け変更後の 集団感染事例への対応に関する説明会	2
	30	熊野市井戸町	雇用主説明会	1
6	5	熊野市井戸町	第1回熊野市社会福祉協議会理事会	1
	21	熊野市井戸町	第2回熊野市社会福祉協議会理事会	1
8	31	熊野市井戸町	老人ホーム入所判定委員会	1
12	13	熊野市井戸町	第3回熊野市社会福祉協議会理事会	1
2	26	南牟婁郡御浜町	エイジハウス評議員選任・解任委員会	1
3	25	熊野市井戸町	第4回熊野市社会福祉協議会理事会	1

23 園内会議・委員会の状況

月	日	会議等の名称	出席数
4	19	サービス担当者会議	7
	20	排泄チーム会議	4
	24	給食会議 業者2名	4
	25	事故防止対策委員会	7
		入所検討委員会	4
	27	職員会議	11
		安全衛生委員会	6
		感染症予防対策委員会	8
	30	介護職員代表者会議	3
入浴チーム会議		4	
5	3	サービス担当者会議	5
	5	身体拘束廃止委員会	5
		人権擁護・虐待防止委員会	5
	8	接遇チーム会議	4
	9	事故防止対策委員会	8
	12	食事口腔ケアチーム会議	7
	15	余暇レクチーム会議	5
	18	褥瘡予防対策委員会 嘱託医1名	4
	22	給食会議 業者2名	4
		行事委員会(ドライブ・ミニ運動会)	2
	24	介護職員代表者会議	3
		職員会議	9
	25	安全衛生委員会	6
		各部署代表者ミーティング	6
31	入所検討委員会	4	
	園芸委員会	3	
6	1	事故防止対策委員会	6
	2	腰痛予防チーム会議	3
	7	サービス担当者会議	4
	9	行事委員会(夏祭り)	4
	13	介護職員代表者会議	4
	16	入所検討委員会	4
	21	サービス担当者会議	5
		行事委員会(夏祭り)	4
	23	職員会議	9
		安全衛生委員会	5
		各部署代表者ミーティング	5
		給食会議 業者2名	3
	25	広報委員会	4
	28	互助会会議	4
7	3	介護職員全体会議	14
	5	サービス担当者会議	7
	6	行事委員会(敬老会)	6
	10	入所検討委員会	4

月	日	会議等の名称	出席数
7	11	認知症ケア委員会	5
	19	サービス担当者会議	7
	24	給食会議 業者2名	3
	25	感染症予防対策委員会	4
	27	職員会議	10
		安全衛生委員会	6
	31	各部署代表者ミーティング	5
8	2	介護職員代表者会議	4
	2	サービス担当者会議	6
	4	事故防止対策委員会	5
	13	介護職員代表者会議	3
	16	サービス担当者会議	6
	18	身体拘束廃止委員会	6
		人権擁護・虐待防止委員会	6
	23	入所検討委員会	4
	24	職員会議	9
		安全衛生委員会	3
	28	各部署代表者会議	5
28	給食会議 業者2名	3	
9	6	サービス担当者会議	8
	17	広報委員会	4
	19	介護職員代表者会議	3
	20	サービス担当者会議	7
		行事委員会(ドライブ)	3
	22	事故防止対策委員会	6
		認知症ケア委員会	4
	25	入所検討委員会	5
		給食会議 業者2名	4
		行事委員会(運動会)	4
28	職員会議	12	
	安全衛生委員会	6	
10	4	サービス担当者会議	7
		行事委員会(運動会)	3
	20	事故防止対策委員会	6
		園芸委員会	3
	23	給食会議 業者2名	4
		認知症ケア委員会	3
	26	入所検討委員会	4
		職員会議	10
		安全衛生委員会	5
	30	各部署代表者ミーティング	6
30	介護職員代表者会議	3	
31	感染症予防対策委員会	7	
11	1	サービス担当者会議	5
	4	行事委員会(クリスマス会)	4

月	日	会議等の名称	出席数
11	10	互助会会議	5
	14	研修委員会	4
	17	身体拘束廃止委員会	7
		人権擁護・虐待防止委員会	7
	22	給食会議 業者2名	3
		防火管理委員会	4
	22	職員会議	9
		安全衛生委員会	9
	各部署代表者ミーティング	4	
30	介護職員代表者会議	4	
12	4	事故防止対策委員会	9
	6	サービス担当者会議	6
	8	余暇・レクチーム会議	4
	11	接遇チーム会議	3
	14	サービス担当者会議	4
	16	行事委員会(新年会)	4
	19	入所検討委員会	5
	19	食事口腔ケアチーム会議	4
		各部署代表者会議	7
	22	排泄チーム会議	4
		入浴チーム会議	4
	26	給食会議 業者2名	3
	27	看取りケア委員会	5
		介護職員代表者会議	3
	28	職員会議	10
		安全衛生委員会	4
		各部署代表者会議	5
29	事故防止対策委員会	8	
30	広報委員会	4	
1	3	サービス担当者会議	6
	7	行事委員会(節分)	2
	10	事故防止対策委員会	8
	12	各部署代表者会議	6
	16	介護職員代表者会議	4
	17	サービス担当者会議	8
	22	苦情解決委員会	5
		給食会議 業者2名	3
	25	職員会議	9
		安全衛生委員会	5
		各部署代表者ミーティング	6
		褥瘡予防対策委員会 嘱託医1名	5
	26	感染症予防対策委員会	5
27	認知症ケア委員会	4	
30	互助会会議	5	
2	7	サービス担当者会議	7
	9	入所検討委員会	5

月	日	会議等の名称	出席数
2	9	行事委員会(ひな祭り)	3
	11	排泄チーム会議	5
	12	身体拘束廃止委員会	4
	13	各部署代表者会議	6
	14	介護職員代表者会議	4
		人権擁護、虐待防止委員会	7
	21	サービス担当者会議	10
	22	防火管理委員会	5
		職員会議	10
		安全衛生委員会	5
		各部署代表者ミーティング	6
	26	給食会議 業者2名	3
29	事故防止対策委員会	6	
3	5	安全衛生委員会 産業医1名	5
	6	サービス担当者会議	8
	11	腰痛予防チーム会議	4
	20	サービス担当者会議	7
	21	介護職員代表者会議	4
		介護職員全体会議	14
		指導担当者ミーティング	5
	22	研修委員会	5
		広報委員会	4
	25	給食会議 業者2名	3
27	行事委員会(花見)	3	

※ 年間の開催数

職員会議11回

給食会議12回

各部署代表者会議5回

介護職員代表者会議12回

介護職員全体会議2回

サービス担当者会議20回

排泄チーム会議3回

入浴チーム会議2回

食事口腔ケアチーム会議2回

余暇・レクチーム会議2回

接遇チーム会議2回

腰痛予防チーム会議2回

互助会会議3回

入所検討委員会9回

身体拘束廃止委員会4回

苦情解決委員会1回

防火管理委員会2回

事故防止対策委員会10回

感染症予防対策委員会4回

行事委員会12回

広報委員会4回

園芸委員会2回

褥瘡予防対策委員会2回

研修委員会2回

安全衛生委員会12回

認知症ケア委員会4回

看取りケア委員会1回

人権擁護・虐待防止委員会4回

各部署代表者ミーティング8回

指導担当者ミーティング1回

24 広報活動・預り金報告・利用者懇談会状況

広報活動

発 送		発 送 先	備 考
月	日		
6	6	<ul style="list-style-type: none"> ・杏南会理事監事 ・苦情解決第三者委員 ・熊野市福祉事務所 ・御浜町福祉保健課 ・紀宝町福祉課 ・熊野市社会福祉協議会 	短期利用者家族へは 5月10日発送
9	4	<ul style="list-style-type: none"> ・熊野市社会福祉協議会紀和事業所 ・御浜町社会福祉協議会 ・紀宝町社会福祉協議会神内事業所 ・紀宝町社会福祉協議会鶴殿事業所 ・熊野市健康長寿課 ・紀南介護保険広域連合 	短期利用者家族へは 8月10日発送
11	29	<ul style="list-style-type: none"> ・畑中歯科医院 ・吉野熊野新聞社 ・南紀新報社 ・きなん苑 ・紀南ひかり園 ・オレンジロードむつみ苑 ・宝寿園 	短期利用者家族へは 11月10日発送
2	5	<ul style="list-style-type: none"> ・松涛園 ・エイジハウス ・ケアホーム熊南 ・居宅介護支援事業所(思いやり・たんぼぼ・つどい・あすか) ・利用者家族 ・産業医 	短期利用者家族へは 2月9日発送

預り金報告状況

発 送		報 告 状 況	備 考
月	日		
5	10	短期利用者家族送付2件	
6	6	長期利用者家族送付56件	
8	10	短期利用者家族送付2件	
9	4	長期利用者家族送付56件	
11	10	短期利用者家族送付0件	
	29	長期利用者家族送付53件	
2	9	短期利用者家族送付2件	
	5	長期利用者家族送付56件	

利用者懇談会

月	日	参 加 状 況	備 考
5	19	利用者25名、職員7名	
7	26	利用者28名、職員8名	
11	14	利用者25名、職員9名	
2	28	利用者23名、職員8名	

25 職員採用・退職状況

採用

	採用年月日	職 種	性別	年齢	採 用 理 由
1	2023/04/01	介護職員(パート)	女	27	補充
2	2023/07/01	介護補助職員(臨時)	男	54	補充
3	2023/08/01	介護職員(正規)	女	49	補充
4	2023/09/01	介護支援専門員(正規)	女	56	補充
5	2023/09/01	介護職員(正規)	男	24	補充
6	2023/10/01	介護職員(正規)	男	46	補充

※年齢は採用時の年齢

退職

	退職年月日	職 種	性別	年齢	勤続期間	退 職 理 由
1	2023/05/31	介護職員(臨時)	女	64	10.3年	自己都合
2	2023/06/30	介護職員(正規)	女	29	8.11年	自己都合
3	2023/07/14	介護補助職員(臨時)	男	54	0.0年	自己都合
4	2023/09/20	介護職員(正規)	女	49	0.1年	自己都合
5	2023/12/20	看護職員(パート)	女	41	0.10年	自己都合
	2024/01/25	雑務職員兼用務員(アルバイト)	女	51	2.4年	自己都合
6	2024/03/31	介護職員(嘱託)	男	57	6.4年	自己都合
7	2024/03/31	看護職員(臨時)	男	65	3.2年	自己都合
8	2024/03/31	介護職員(正規)	女	60	11.5年	定年退職

※年齢は退職時の年齢

26 防災訓練等の実施状況、主な修繕工事等の状況、その他の状況等

防災訓練等の実施状況

区 分	実 施 月 日	消防署事前通報	消防署立会	記 録
基礎訓練	4 月 24 日	有	有	有
防災総合訓練	5 月 15 日	有	無	有
福祉避難所運営訓練	6 月 19 日	無	無	有
夜間想定総合訓練	10 月 23 日	有	有	有
基礎訓練	11 月 4 日	有	無	有
部分訓練	2 月 18 日	有	無	有

※熊野市消防団金山・久生屋分団と災害時の協力体制確立(協定年月日 平成18年2月22日)

※令和5年度 消防署立入検査なし

※熊野市防災対策課と無線訓練 令和5年5月15日 令和5年6月19日

※新型コロナウイルス感染症の予防及びまん延防止訓練 令和5年4月24日

主な修繕工事等の状況(税込み50万円以上の修繕工事等)

工事名等	金 額(税込み)	業者名
太陽光発電システム設置工事	17,050,000円	㈱共伸興建
プレハブ冷蔵庫入れ替え工事	1,242,241円	ホシザキ東海㈱
受水槽給水用加圧ポンプ制御盤取替工事	855,800円	前地水道工業所

その他の状況

月	日	内 容
7	6	新型コロナワクチン予防接種 6回目 利用者72名 職員2名
	18	利用者健康診断(ポータブル胸部レントゲン撮影)49名
	27	夜間勤務職員健康診断19名
	28	利用者健康診断(採血等)58名
9	14	満88歳到達者1名への長寿お祝い 御浜町役場職員1名
	18	満95歳到達者3名への長寿お祝い 熊野市社会福祉協議会役職員2名
10	18	熊野市老人福祉大会 職員1名
10	10	事実確認のための訪問調査 熊野市職員1日2名～8名
	11	
	12	
	13	
	16	
	17	
11	13	事実確認のための訪問調査 熊野市職員1日2名～8名
	14	
	15	
	16	
	17	
	20	
11	9	インフルエンザ予防接種 利用者75名 職員38名
	30	新型コロナワクチン予防接種 7回目 利用者64名
12	1	職員健康診断39名
	14	職員健康診断(介護職員腰部レントゲン撮影)30名
2	15	介護保険サービス事業者等の運営指導 県職員4名
	22	紀南地域就職面接会2024 職員1名

※11月29日以降のハローワーク(尾鷲・熊野・新宮)ミニ就職面接会出席 職員1名

特別養護老人ホームたちばな園あすか関係

1 処 遇

「令和5年度計画に対しての実施内容及び評価」

お客様のもう一つの家のように、お客様一人ひとりの個性や生活リズム等を尊重した「ユニットケア」を目指すため、7項目の目標を立て取り組みました。

- 1.食事ケアについては、ユニットごとに温かいご飯と粥を炊き、お客様一人ひとりの好みや状態に合わせ、偏食や偏りがあれば、その原因(嗜好・固さ・大きさ)を取り除く工夫や代替、食事形態を変更し、食欲を促す声掛けに努めました。
- 2.入浴ケアについては、入浴前にはバイタルチェックを行い、健康状態を確認し身体状態に合わせ、ご希望の時間帯に添い、マンツーマンで好みの湯加減で、ゆっくり、リラックスできるよう、安全に安心して入浴していただくよう努めました。
- 3.排泄ケアについては、お客様の自尊心を傷つけないようプライバシーに配慮し、お客様一人ひとりが失禁による不快感や苦痛を感じることなく快適に過ごしていただけるよう努めました。
- 4.口腔ケアについては、食後は毎回、お客様の状態に合わせ、歯磨きやうがい、口腔清拭、義歯の洗浄等を行い、口腔内の清潔保持と感染の予防に努めました。
- 5.身だしなみについては、好みやTPOにあった服装、毎日の起床時には、洗面所での洗顔やホットタオルでの清拭を行い、目の部分は脱脂綿を使用し、清拭しました。また定期的に爪の手入れを行い、男性の髭剃りを日課とし、快適に1日を過ごして頂くよう努めました。
- 6.接遇については、お客様のペースや目線を合わせて笑顔で優しく、挨拶や声掛けを行い、敬意をもって接し、お客様との信頼関係が築けるよう努めました。
- 7.その他については、お客様各々の好みの家具や馴染みある品々を置き、安心して休めるお部屋となるように工夫しました。また、日々の生活に生きがいや、楽しみを持っていただけるようお客様の特徴を活かし、役割であったり、レクリエーション、カラオケ、読書等の趣味の時間を計画しました。面会に関しては新型コロナ感染症予防のため、前年に引き続きオンライン面会、窓越し面会を行っていましたが、新型コロナウィルス感染症の流行も緩和がみられ、クリアボード越しではありますが、直接の面会を行う事ができるようになりました。時間の制限があったり予約制ではありましたが、ご家族にも喜んで頂く事ができました。外出については前年と違い車から外へ出での見学や昼食も実施することができました。各ユニットでは、食事会や季節に合わせた手作りのケーキやお菓子をお茶会にとり入れ、お寿司の食事会、余暇活動を計画し、新型コロナ感染症の流行は依然一部ありましたが、日々の楽しみを持っていただけるよう努めました。

「今後の課題」

お客様が今までと変わらず安心して暮らしていただけるためには、引き続き介護技術の強化と標準化的ケアの向上を図り、特にお客様の姿勢やベッドで休まれているときの安楽な姿勢を保持し、接遇については、お客様の立場に立ち、思いやる接遇やコミュニケーション、スキルアップに努める必要があります。

2 健康、衛生管理

「令和5年度計画に対しての実施内容及び評価」

- 1.お客様の健康状態については、医師の指示のもと職員間で情報共有し健康維持に努めました。
- 2.お客様の健康診断については、外部業者に委託し、胸部レントゲン、採血、心電図を行い、医師指示のもと健康管理に努めました。
- 3.体重測定については、毎月1回測定を行う事が出来ませんでした。今後出来るよう努めます。

- 4.医師の来診については、毎週金曜日に来診され、ユニット毎にお客様の診察をしていただき、診察時は職員が同行し状態の説明を行い、指示を受けた場合は多職種との共有に努めました。
- 5.服薬については、医師の指示のもと多職種と情報共有し、確実に服薬していただけるように努めました。
- 6.入浴時及び体調に変化が見られた時については、バイタル測定を行い状態に応じた対応に努め、安心して入浴していただけるように努めました。
- 7.毎日の食事・水分摂取量の把握については、多職種と情報を共有し、身体状態や栄養状態の把握に努めました。
- 8.便秘時の対応については、医師の指示のもと服薬等にて排便コントロールに努めました。
- 9.緊急時や日常健康管理については、医師との連携を密にし、指示に沿った対応に努めました。
- 10.看護師の自宅待機(オンコール体制)については、お客様の急変時等いち早く担当看護師に連絡を取っていただくことで、看護師不在時の夜間や早朝の急変対応に努めました。
- 11.感染症予防や衛生管理については、多職種と連携を取り、医師の指示やマニュアルに沿って業務を遂行し、感染拡大や蔓延を防ぐと共に、清潔な施設生活を送っていただけるように努めました。
- 12.選択できる健康管理については、お客様の人権を守り、お客様や家族の承諾を得ながら、その方に応じた対応を嘱託医と相談しながら努めました。
- 13.医療的知識や専門知識、技術の向上については、外部研修やその他勉強会への出席は、新型コロナウイルスの流行もあり参加を控えさせていただきました。
- 14.職員健康診断については、夜間勤務者は年2回、日勤者は年1回の健康診断、常勤の介護職員には腰痛健康診断を実施し、職員の健康管理に努めました。検診にて二次検査を指摘された方については受けていただくよう指導に努めました。

「今後の課題」

昨年度は、職員やお客様の感染症(新型コロナウイルス、インフルエンザ)罹患等もありました。園内感染も新型コロナは1ユニット、インフルエンザは1ユニットで済みましたが、今後も蔓延する恐れがあり防止に努めていきます。
今年度も健康診断後の二次検査を指摘された方は全員受けていただくよう産業医の指導助言を頂きながら職員の健康管理に努めていきます。

3 生活支援

「令和5年度計画に対しての実施内容及び評価」

- 1.一人ひとりの個性と生活リズムについては、本人の意向(意思を伝えられないお客様にはその思いをくみ取り)、課題、生活歴を把握し、お客様の生活や心身状態の維持や改善のために必要なことを計画し、実施した結果を評価・見直すことで個別性の高い施設サービス計画書の作成に努めました。継続して医療面の課題を明確にし、現病歴、既往歴など持病の悪化、再発防止に努めることができた。また観察の注意点も明確になり、早期発見、迅速な対応のもと重症化を防ぐことができました。
- 2.ユニットケア、個別ケアの向上については、サービス担当者会議、ユニット会議、家族面談を通じて、多職種間でお客様の身体的状態、生活状況を共有し、専門的見地から意見集約を行うことで24時間の流れに沿ったケアの実践に繋げることに努めました。
- 3.お客様とご家族や地域の方々との関りについては、令和5年度は新型コロナウイルスの影響により、開催することができず、地域の方々と交流(関わり)をもつことができませんでした。令和6年度も新型コロナウイルスの影響により、実施、開催できないことが予想されますが、社会情勢、地域の状況を考慮しながら検討していきます。
- 4.お客様にとって自分らしい暮らし、普通の暮らしについては、日々のお客様との関わりやサービス担当者会議を通じて、「お客様の希望」「お客様ができること」「サポートする内容」を中心に注意点を集約し、それらを踏まえて生活環境を整えることで自分らしい、普通の暮らしを支援することに努めました。職員の不足により、余暇活動、体操、散歩などが実施できていないので、令和6年度は実施できるよう検討することが必要です。

5.お客様からの相談や苦情の訴えについては、お客様とは信頼構築の為、毎日各ユニットに巡回し、ひとり一人コミュニケーションを図り、直接関わることで悩み、苦情、相談に対して迅速に解決しました。また家族の意向の把握に努めるとともに、普段から、お客様の状況、状態を発信するなどご家族と状態、情報を共有し、コミュニケーションを図ることで信頼関係を構築し、相談や苦情に対して迅速に対応することができました。事故により怪我を負った場合は、看護職員と共に事故の状況、状態、今後の対応などを詳しくご家族に説明し安心感を持って頂くよう努めました。ただし、誤薬事故、移乗、移動介助の事故、食事介助などの直接介助の事故が令和5年度も発生してしまったため、事故防止対策委員会と連携を取りながら、事故発生を未然に防止する必要があります。

「今後の課題」

現状のケアマネジメント、家族支援、生活支援を継続しながら、お客様個々の身体状況の変化や異常のサインを早期に発見できるよう、多職種協同で取り組み、著しい変化(事故による骨折等)による重度化や入院を防ぎ、安定した稼働率確保に努める必要があります。ターミナルケアの中核として、本人、ご家族、施設専門職が一体となるよう努め、より良い終末を迎えられるよう取り組みます。長期入居者の確保については、長期入居を希望されない件数が増加しています。その中で、外部機関との良い関係性を継続しながら、営業活動に努め、入居希望者、申込者を獲得していきます。

4 給食

「令和5年度計画に対しての実施内容及び評価」

- 1.「食中毒の発生を防ぎます」については、盛付従事者に、正しい手洗いの徹底と自己の体調管理、整理・整頓・清掃の重要性を伝え、厨房の清潔維持に努めました。また、食材納入時の品質確認・温度測定を徹底し、納入時の検品処理から加熱直前までの温度管理やチルド食品加熱時の中心温度測定についても85℃以上となるよう徹底し、安全な食事提供に努めました。
- 2.「時々手作りを取り入れるなど工夫します」について、行事は、新型コロナウイルス等の対応により、行うことが困難でしたが、お客様の好きなにぎり寿司や、さんま寿司、昆布寿司等の地域の旬の食材を使った料理を各ユニットにて提供できたため、お客様に喜んでいただく事ができました。
- 3.「適正な栄養摂取ができるよう食事形態等に配慮するように努めます」については、自力摂取が維持できるよう自助具の検討や、お客様の状態にあった食事環境となるように努めました。
- 4.「低栄養状態の改善」については、ケース記録に目を通したり、お客様との関わりや会議に参加できなかったときは、他職種への聞き取りを中心に情報を集め低栄養状態の改善に努めました。

「今後の課題」

- 1.チルド食品だからと安心することなく、盛り付け時に異物が混入していないか目視チェックを行い、お客様が安全に安心して食していただけるように努める必要があります。
- 2.ユニット巡回を行い、お客様との関わりを増やすことで、お客様の状態を把握し、安心して食していただけるよう努めると共に、会議等にも参加し、他職種からの意見を取り入れ、それに基づき、お客様一人ひとりの健康状態の維持及び低栄養状態の改善に努めます。

5 事故防止・防災対策

「令和5年度計画に対しての実施内容及び評価」

建物設備等の維持管理、清潔保持に努めるとともに、お客様が安全かつ快適に生活できるよう居室・共同生活室・廊下等の環境整備を行いました。また、お客様の転倒やベッドからの転落事故を防止するため、ベッドや車椅子等の介護機器の定期点検や見守り強化に取り組んだことで事故防止に繋げることができました。

防災対策については、5回の防災訓練(火災・地震等)を行いました。防災研修は、昨年度と同様に火災発生時の対応順序や消火器の扱い方および大規模地震が起きた際に迅速な対応できるよう、一連の流れを再確認しました。その他、防犯面における不審者侵入時対策、また要配慮者の避難を想定した福祉避難所運営訓練を実施することができました。

「今後の課題」

今後もお客様の事故未然防止のため、建物内外や設備の点検を行うとともに介護機器等の整備を行い、事故防止に努める必要があります。

防災対策については、火災訓練に限らず、地震等を想定した避難訓練を実施し、災害時における対応力向上に努める必要があります。

6 会議・委員会・研修

「令和5年度計画に対しての実施内容及び評価」

会議、委員会については、計画通り行うことができました。内部研修は、お客様にとっての安心・満足・快適という基本になることに重点を置いた接客研修、セクハラ防止や対応接待・飲酒運転禁止等の再確認を行う職員倫理研修など、職員の意識向上に繋がる各種研修を実施することができました。また、新任からベテランまで、全介護職員に対して、不適切ケアに関するディスカッションを定期的に行うことで介護技術の向上に繋げることができました。

外部研修に関しては、職員不足の影響により、主としてオンライン研修の参加になりましたが、昨年度に続いて、Zoom、Webexといったウェブ会議・オンライン研修アプリを有効活用し、新たな知識を得ることができました。

「今後の課題」

今後も会議、各委員会が目標を定め、具体的活動を計画し、実行、改善と繋げることが必要です。

内部研修では、接客マナー、職員の資質・専門知識・技術の向上を図り、外部研修は新しい知識・情報を取り入れて、さらに向上に努める必要があります。

8 入居状況

長期入居者人員状況

月	月初日者数	性別		平均年齢	入居者数	退居者数
		男	女			
4	59	8	51	90.8	1	5
5	55	6	49	90.8	2	0
6	57	6	51	90.9	0	0
7	56	6	50	91.0	0	1
8	55	6	49	91.1	0	2
9	53	6	47	91.1	0	1
10	52	6	46	91.0	0	1
11	51	6	45	91.0	1	3
12	49	6	43	91.1	1	0
1	50	7	43	90.8	0	2
2	48	7	41	90.7	0	2
3	46	6	40	90.8	4	2
合 計					9	19

長期入居者の出身地状況

市 町 村	熊野市	御浜町	紀宝町	尾鷲市	新宮市
年度始入居者数	49	0	4	2	3
年度末入居者数	38	1	4	1	3

市 町 村	下北山村	合計
年度始入居者数	1	59
年度末入居者数	1	48

長期退居者内訳

日 付	性別	年齢	本入居後の在園期間	理 由
2023/04/13	女	89	3.4年	救急搬送後死亡
2023/04/14	女	90	0.3年	施設で死亡
2023/04/15	男	92	2.5年	救急搬送後死亡
2023/04/17	女	93	8.2年	老人病院入院
2023/04/21	男	90	1.6年	入院中死亡
2023/06/23	女	87	0.1年	入院中死亡
2023/07/15	女	89	3.3年	施設で死亡
2023/08/21	女	91	8.6年	入院中死亡
2023/08/28	女	94	5.10年	老人病院入院
2023/09/13	女	101	3.2年	老人病院入院
2023/10/20	女	96	6.1年	救急搬送後死亡
2023/11/02	女	97	2.7年	施設死亡
2023/11/05	女	82	1.0年	救急搬送後死亡
2023/11/19	男	89	0.0年	施設死亡
2024/01/16	女	95	6.4年	長期入院見込み
2024/01/22	女	93	6.6年	救急搬送後死亡
2024/02/03	女	100	3.9年	長期入院見込み
2024/02/14	男	78	2.0年	入院中死亡
2024/03/04	女	94	4.3年	施設で死亡
2024/03/22	女	89	0.10年	療養型病院入院

9 処遇・介護の状況

日課等(長期入居者・短期利用者)

食 事	朝食8時～10時	昼食12時～14時	夕食17時～19時
オムツ交換	定時6回・随時、清拭		
シーツ交換	毎週1回、随時		
集 い	各ユニット毎の余暇活動		
入 浴	個浴・リフト浴・特浴とも日々の午前と午後		
回 診	毎週金曜日 午後		
美 容	第三 火曜日 (9時30分～14時30分)		

日常生活の状況(長期入居者)

令和6年3月31日現在

日常生活動作		人員	日常生活動作		人員
移 動	自 立 歩 行	1	着 脱 衣	自 立	6
	付 き 添 い 歩 行	1		一 部 介 助	16
	杖 歩 行 器	0		全 介 助	26
	歩 行 器	7	排 泄	自 立(トイレ使用、ポータブル使用含む)	5
手 押 し 車	4	介 助(トイレ使用、ポータブル使用含む)		18	
車 椅子 (自 立)	4	オ ム ツ		25	
食 事	車 椅子 (介 助)	31	洗 面	自 立	14
	自 立	24		ベ ッ ト 上 (一 部 介 助)	14
	一 部 介 助	10		全 介 助	20
入 浴	全 介 助	14	認 知 症	重 度	6
	一 般 浴 (自 立)	0		中 度	31
	一 般 浴 (一 部 介 助)	7		軽 度	11
	一 般 浴 (全 介 助)	0		な し	0
	リ フ ト 浴	28			
特 殊 浴 (臥 床 式)	13				
特 殊 浴 (座 位 式)					

年齢別在園者(長期入居者)

令和6年3月31日現在

性別/年齢	57～69	70～79	80～89	90～99	100以上	計	平均年齢
男	2	1	11	2	0	16	80.0
女	0	2	2	24	4	32	91.9
計	2	3	13	26	4	48	

在園期間の状況(長期入居者)

令和6年3月31日現在

性別/期間	1年未満	1年以上3年未満	3年以上5年未満	5年以上9年未満	計
男	2	2	1	2	7
女	4	9	14	14	41
計	6	11	15	16	48

現員48名

熊野38名、紀宝町4名、尾鷲市2名、新宮市3名、
下北山村1名

平均在園年数4.4年

10 リハビリテーション・諸活動・面会及び外出、外泊状況

リハビリテーション

種 目	回 数	備 考
体操	随 時	
歩行訓練	随 時	
可動域訓練	随 時	

諸活動

種 目	回 数	備 考
お茶会	毎 月	
食事会・喫茶	随 時	
音 楽	随 時	カラオケ

面会及び外出、外泊状況

長期入居者の面会者集計(人)

月	月初日 者数	面 会 者						合計
		配偶者	兄弟	子供	孫	親族	その他	
4	59	1	0	22	9	16	0	48
5	55	3	0	19	10	15	0	47
6	57	2	1	19	8	14	1	45
7	56	2	0	20	9	19	0	50
8	55	3	1	37	21	62	2	126
9	53	1	1	14	13	42	0	71
10	52	2	0	12	5	15	2	36
11	51	2	0	22	14	19	2	59
12	49	1	0	27	8	37	0	73
1	50	2	0	30	49	32	1	114
2	48	1	0	12	1	20	0	34
3	46	1	0	28	9	19	0	57
合計	631	21	3	262	156	310	8	760

長期入居者の外出・外泊者数

月	外出者数	外 泊	
		人数	泊
4	0	0	0
5	0	0	0
6	0	0	0
7	0	0	0
8	0	0	0
9	0	0	0
10	0	0	0
11	0	0	0
12	0	0	0
1	0	0	0
2	0	0	0
3	0	0	0
合計	0	0	0

※オンライン面会、窓越し面会、会議室での対面面会を実施

※10月26日から11月3日の間、やまゆりユニットコロナ感染の為、面会中止

短期利用者の面会者数(人)

月	面 会 者						合計	外出者数
	配偶者	兄弟	子供	孫	親族	その他		
4	0	0	0	0	0	0	0	0
5	0	0	0	0	0	0	0	0
6	0	0	0	0	0	0	0	0
7	0	0	0	0	0	0	0	0
8	0	0	0	0	0	0	0	0
9	0	0	0	0	0	0	0	0
10	0	0	0	0	0	0	0	0
11	0	0	0	0	0	0	0	0
12	0	0	0	0	0	0	0	0
1	0	0	0	0	0	0	0	0
2	0	0	3	0	0	1	4	0
3	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	0	0	3	0	0	1	4	0

※オンライン面会、窓越し面会、会議室での対面面会を実施

※10月26日から11月3日の間、やまゆりユニットコロナ感染の為、面会中止

※ショート実利用者数3名

11 長期入居者の受診、入院状況

受診病名	受診延べ人数
肺炎(誤嚥性含む)	30
骨折	19
リウマチ	16
心不全	16
尿路感染、膀胱炎、膀胱結石	15
胸水	12
認知症	10
緑内障、白内障	8
PEG交換	8
パーキンソン症	7
慢性骨髄性白血病	7
異常なし、不明	6
ペースメーカー点検	4
頰椎損傷	4
健康診断2次検査、CT検査	4
偽通風、関節炎	4
肺癌	3
下肢炎症	3
結核疑い、肺Mac症	3
耳下腺炎	2
喘息	3
胆石、胆管炎疑い	2
喘息	2
腸閉塞、腸蠕動運動低下	2
C型肝炎	2
皮膚疾患、一過性出血	2
新型コロナウイルス	1
急性呼吸不全	1
水腎症	1
ワクチン接種	1
大動脈解離	1
痙攣発作	1
合計	200

入院病名	入院人数
肺炎	5
心不全	5
肺Mac症	1
腸蠕動運動低下	1
気胸	1
新型コロナウイルス	1
骨折	1
胆管炎	1
胸水	1
意識不明	1
合計	18

月	受診・園診療・入院者数				延べ入院日数	看護職緊急呼出回数	救急車搬送回数
	受診	嘱託医診療	歯科医診療	入院			
4	20	87	0	1	30	1	2
5	20	83	0	0	0	0	0
6	12	146	1	1	22	0	0
7	15	75	0	1	13	1	0
8	11	68	0	1	7	0	0
9	14	66	1	1	13	0	0
10	17	165	0	3	15	0	2
11	11	100	0	2	28	1	1
12	18	68	1	0	6	0	0
1	23	64	0	5	33	0	3
2	19	64	0	2	45	0	0
3	20	79	1	1	55	0	1
合計	200	1,065	4	18	267	3	9

※嘱託医診療人数は、直接及び間接診療含む

12 短期利用者の受診状況

受診病名	受診延べ人数
なし	
合計	0

月	通院・園診療数			看護職緊急 呼出回数	救急車 搬送回数
	受診	嘱託医 診療	歯科医 診療		
4	0	0	0	0	0
5	0	0	0	0	0
6	0	0	0	0	0
7	0	0	0	0	0
8	0	0	0	0	0
9	0	0	0	0	0
10	0	0	0	0	0
11	0	0	0	0	0
12	0	0	0	0	0
1	0	0	0	0	0
2	0	0	0	0	0
3	0	0	0	0	0
合計	0	0	0	0	0

※嘱託医診療人数は、直接及び間接診療含む

13 園内事故状況・身体拘束状況・苦情受付状況

園内事故状況

月	日	概要	ケガ等の状態	対応・処置
4	3	排泄時右大腿骨の痛みを訴える	右大腿骨骨折	介護職員から看護職員に連絡 介護支援専門員兼相談員へ連絡 看護職員確認 井本医師に連絡 井本医院受診 紀南病院整形外科受診 介護支援専門員兼相談員が家族と面談
5	10	トイレ転倒	右膝骨折	介護職員から看護職員に連絡 介護支援専門員兼相談員へ連絡 看護職員確認 井本医師に連絡 井本医院受診 紀南病院整形外科受診 介護支援専門員兼相談員が家族と面談
5	14	排泄時右胸の痛みを訴える	右胸骨折	介護職員から看護職員に連絡 介護支援専門員兼相談員へ連絡 看護職員確認 井本医師に連絡 井本医院受診 紀南病院整形外科受診 介護支援専門員兼相談員が家族と面談
5	25	胃瘻カテーテル抜去	なし	介護職員から看護職員に連絡 家族に連絡 看護職員確認 家族に連絡 紀南病院内科受診
5	30	誤薬	なし	介護職員から看護職員に連絡 介護支援専門員兼相談員へ連絡 看護職員確認 家族に介護支援専門員兼生活相談員が連絡 経過観察
6	26	胃瘻カテーテル抜去	なし	介護職員から看護職員に連絡 家族に連絡 看護職員確認 家族に連絡 紀南病院内科受診
7	18	居室で転倒	右大腿部頸部骨折	介護職員から看護職員に連絡 介護支援専門員兼相談員へ連絡 看護職員確認 井本医師に連絡 井本医院受診 紀南病院整形外科受診 紀南病院入院 介護支援専門員兼相談員が家族と面談
7	21	胃瘻カテーテル抜去	なし	介護職員から看護職員に連絡 家族に連絡 看護職員確認 家族に連絡 紀南病院内科受診
8	7	衣類着脱時左肩の痛みを訴える	左肩脱臼	紀南病院内科受診時に発覚 看護職員、家族同席 介護支援専門員兼相談員へ連絡 経過観察
8	24	居室出入口前で転倒	恥骨骨折	介護職員から看護職員に連絡 介護支援専門員兼相談員へ連絡 看護職員確認 井本医師に連絡 井本医院受診 紀南病院整形外科受診 介護支援専門員兼相談員が家族と面談
11	1	不明	右肋骨11.12間軟骨骨折	介護職員から看護職員に連絡 介護支援専門員兼相談員へ連絡 看護職員確認 井本医師に連絡 井本医院受診
11	12	居室で転倒	胸椎第11圧迫骨折	介護職員から看護職員に連絡 介護支援専門員兼相談員へ連絡 看護職員確認 井本医師に連絡 紀南病院救急外来受診 介護支援専門員兼相談員が家族と面談

1	9	誤嚥	誤嚥性肺炎	介護職員から看護職員に連絡 介護支援専門員兼相談員へ連絡 看護職員確認 井本医師に連絡 井本医院受診 尾鷲総合病院受診 尾鷲総合病院入院 介護支援専門員兼相談員が家族と面談
3	22	誤薬	なし	介護職員から看護職員に連絡 介護支援専門員兼相談員へ連絡 看護職員確認 家族に介護支援専門員兼生活相談員が連絡 経過観察
3	24	誤嚥	心肺停止	介護職員から看護職員に連絡 介護支援専門員兼相談員へ連絡 看護職員、介護支援専門員兼生活相談員で心肺蘇生法 救急搬送 紀南病院入院

※ 上記の事故や軽度の事故等について事故防止対策委員会を17回開催し、考えられる発生原因等を分析し、改善方法を協議し、再発防止に努めました。

身体拘束状況

A	利用者本人又は他の利用者等の生命又は身体が危険にさらされている可能性が著しく高い。
B	身体拘束その他の行動制限を行う以外に代替える看護・介護方法がない。
C	身体拘束その他の行動制限が一時的である。

※ 令和6年3月31日現在、上記のABC全て満たしている利用者は無く、身体拘束はゼロとなっております。身体拘束廃止委員会は、6回開催しました。

苦情受付状況

月	日	概 要
7	23	介護職員による言葉使い、接遇面に問題があった。

その他苦情の受付はありませんが、利用者や家族の方等の要望や小言等については、苦情解決委員会で協議検討し、その改善に努めました。

苦情解決委員会は、1回開催しました。

第三者委員への苦情相談はありませんが、利用者や家族の方等の要望や小言については、苦情解決委員会で協議検討し、その改善に努めました。

14 長期入居者の負担額・介護度認定状況、短期利用者の利用状況

長期入居者の負担額の状況

令和6年3月31日現在

利用料本人負担額(1日)

負担額	0円	770円	843円	912円	979円	計
人数	0	4	13	12	19	48

1人1日の利用料平均負担額908円
1か月利用料平均27,240円(30日の場合)

食費本人負担額(1日)

負担額	0円	300円	390円	650円	1,360円	1,445円	計
人数	0	0	11	8	10	19	48

1人1日の食費平均負担額1053円
1か月食費平均31,590円(30日の場合)

居住費本人負担額(1日)

負担額	0円	820円	1,310円	2,006円	計
人数	0	11	18	19	48

1人1日の居住費平均負担額1,473.2円
1か月居住費平均44,196円(30日の場合)

長期入居者の介護度認定状況

令和6年3月31日現在

要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	計
0	4	13	12	19	48

令和6年3月31日現在 平均介護度 3.96 (参考 令和5年3月31日現在 平均介護度 4.02)

短期利用者の利用状況

月	延べ利用者数(人)	延べ日数(日)	延べ送迎回数(回)
4	0	0	0
5	0	0	0
6	1	4	2
7	1	3	2
8	2	9	4
9	1	4	2
10	2	22	5
11	1	7	1
12	1	8	2
1	1	9	2
2	2	37	3
3	1	10	0
合計	13	113	23

市町村	実利用者数		計
	男	女	
熊野市	1	2	3
御浜町	0	0	0
紀宝町	0	0	0
尾鷲市	0	0	0
下北山村	0	0	0
実数合計	1	2	3

15 行事实施状況

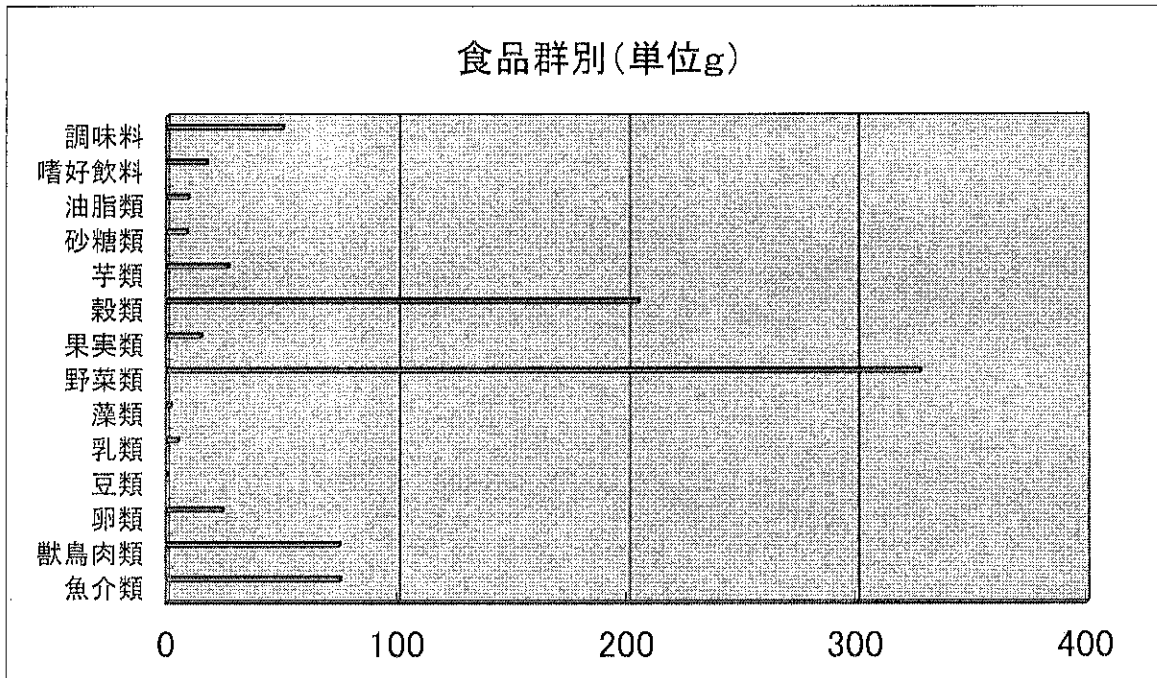
4月	お茶会(1階)
5月	外出支援(鯉のぼり見学・買い物)、外出支援(熊野古道センター見学・買い物)
6月	お茶会(全体)
7月	お茶会(1階、2階) 夕食会
8月	なし
9月	お茶会(1階)
10月	お茶会(1階)
11月	なし
12月	夕食会、お茶会(全体)、ゆず湯(一般浴のみ)
1月	新年のおもてなし
2月	開園記念昼食会
3月	なし

※行事委員会は、2回開催しました。

16 給食状況

1人1日当り平均給与エネルギー 1日給与カロリー(kcal)	
月	カロリー
4	1,470
5	1,464
6	1,464
7	1,453
8	1,460
9	1,453
10	1,471
11	1,459
12	1,472
1	1,471
2	1,469
3	1,466
平均	1,464

食品群別1人 1日当り平均摂取量(g)	
食品群	量(g)
魚介類	75.1
獣鳥肉類	74.7
卵類	24.3
豆類	43.3
乳類	5.0
藻類	1.9
野菜類	327.6
果実類	15.0
穀類	204.6
芋類	26.5
砂糖類	8.8
油脂類	9.5
嗜好飲料	17.5
調味料	50.4



令和6年3月31日現在 長期入居者 48名中 入院 1名

	食事内容	人
主食	ご飯	22
	全粥	16
	ミキサー	7
	計	45
副食	普通	14
	刻み	13
	ソフト	11
食	ミキサー	7
	計	45
経管		2

・令和4年度給食費実績
1日1人979円11銭

・令和5年度給食費実績
1日1人947円92銭

17 施設体験・実習生・ボランティア・慰問等の受入状況

施設体験	人数	期間(日)
なし		
合計	0	0

実習生	人数	期間(日)
なし		
合計	0	0

ボランティア	実人数	回数
花のお世話、草取り	1	1
合計	1	1

慰問等	回数	参加人数
なし		
合計	0	0

18 外部研修の状況

月 日	開催地	研修内容	出席数
5/18	多気郡多気町	接遇マナー研修	1
6/8	多気郡多気町	接遇マナー研修	1
6/9	WEB	退職手当共済制度初任者実務研修会	1
8/20	WEB	三重県経営協会会計実務者養成講座	1
11/26	南牟婁郡御浜町	三重県認知症介護基礎研修	3
12/6	WEB	介護労働者雇用管理責任者講習	1
12/17	熊市井戸町	三重県認知症介護基礎研修	1
1/24	WEB	介護事業者のための事業継続計画(BCP)作成セミナー	1
2/6	WEB	退職手当共済制度実務研修会	1
2/8	WEB	BCPオンラインセミナー 初動対応 本当に機能しますかBCP	1

19 内部研修の状況

内部研修

月 日	研 修 内 容	出席数 (講師除く)
6/6、7、12、13 19、20、21、22 23、29、2/24	不適切ケアディスカッション研修 講師 介護職員	33
6/6、12、13、14 19、20、21、23 28、7/2、3、29 9/15	事故防止対策研修(誤嚥防止) 講師 介護職員	36
7/3、5、8、10	認知症・尊厳研修 講師 介護職員	11
7/4、12、22、23 24	接遇研修 講師 介護職員	10
8/2、7、23 11/10、15、24、25	人権擁護、虐待防止研修 講師 介護職員	19
9/4、6	接遇研修 介護職員	4
9/9、13、14、15 17、23	認知症・尊厳内部研修 講師 介護職員	13
9/9、12、13、14 16、17、19、20 24、27、10/2	防災研修 講師 事務職員	39
9/26、27、28、10/3 4、6、7	事故防止対策研修(入浴) 講師 介護職員	28
9/29、10/4、6、10 11、11/6、10、13 14、29、12/1	苦情防止研修 講師 介護支援専門員兼生活相談員	46
10/4、5、19、27	接遇研修 講師 介護職員	8
10/24、25、12/4 5、6、13、26 1/2、2/24、25 26、3/5、18	個人情報取扱研修 講師 介護職員 看護職員	33
11/10、15、24、25	人権擁護・虐待防止研修 講師 介護職員	11
11/23、24、12/5、13	感染症予防対策研修 講師 看護職員	39
11/30、12/4、10 18、23	腰痛予防対策研修 講師 看護職員	25
11/30、12/4、10、18 23	褥瘡予防対策研修 講師 看護職員	25
12/20	リーダー層育成ディスカッション研修 講師 介護職員	10
12/26、1/5、9 12、13	事故防止対策研修(更衣) 講師 介護職員	23
1/2、8、9、10 15、17、24、2/5	認知症・尊厳研修 講師 介護職員	21
1/2、8、9、10 11、12、15、17 24、2/21、24、26 3/1	身体拘束廃止研修 講師 介護職員	41
1/4、5、16、19 2/25	腰痛予防対策研修 講師 看護職員	16
1/4、5、16、19 2/25	褥瘡予防対策研修 講師 看護職員	16
1/17	福祉避難所運営研修 講師 施設長兼事務長	8
1/17、25、30、2/7 10、11、13	事故防止対策研修課(入浴) 講師 介護職員	30

月 日	研 修 内 容	出席数 (講師除く)
2/12、19、20、21 24、26、3/1	接遇研修 講師 介護職員	39
2/20、21、23、28 3/1、4	事故防止対策研修 講師 介護職員	23
2/21	防災研修 講師 施設長兼事務長	12
2/21、3/5、11、12 13、18、25	職員倫理研修 講師 介護職員	22
2/21、22、27、28 3/5、7、8、9 11、12、15、17 19、21、22、24 26、27	身体拘束廃止取組研修 講師 介護職員	40
2/28、29、3/1、3 5、7、11、12 15、18、26、27 29	人権擁護・虐待防止研修 講師 介護職員	41
3/13、17、18、21 22、23、24、25	事故防止対策研修 講師 介護職員	30
3/23、24、25	感染症予防対策研修 講師 看護職員	33

研修委員会は 2回開催しました。
予定していた各委員会の内部研修は予定通り行われています。

21 園内会議・委員会の状況

月 日	会 議 等 の 名 称	出席職員数
4/1	職員互助会会議	3
4/3、4、10、11 15、25	ユニット会議	26
4/3	サービス担当者会議	2
	職員互助会会議	4
4/12	事故防止対策委員会	9
	入所検討委員会	3
4/18	広報委員会	4
	各部署代表者会議	5
4/19	事故防止対策委員会	7
	職員会議	6
	安全衛生対策委員会	6
	給食会議	6
	ユニットリーダー会議	8
4/30	サービス担当者会議	2
5/1、2、9、10 11、24	ユニット会議	26
5/7	サービス担当者会議	2
5/13	職員互助会	6
5/17	職員会議	6
	安全衛生対策委員会	6
	給食会議	5
	感染症予防対策委員会	6
	人権擁護・虐待防止委員会	4
	ユニットリーダー会議	7
	身体拘束廃止委員会	4
5/23	サービス担当者会議	3
5/24	サービス担当者会議	3
5/29	サービス担当者会議	2
5/30	事故防止対策委員会	6
5/31	事故防止対策委員会	6
6/4	サービス担当者会議	2
6/5	サービス担当者会議	2
6/6、12、13、14 19、20	ユニット会議	26
6/8	サービス担当者会議	2
	各部署代表者会議	5
6/9	サービス担当者会議	2
6/12	サービス担当者会議	3
6/13	サービス担当者会議	2
6/20	サービス担当者会議	3
	各部署代表者会議	4
6/22	サービス担当者会議	3
	職員会議	10
	安全衛生対策委員会	10
	給食会議	7
	認知症ケア委員会	4
	事故防止対策委員会	10
	事故防止対策委員会	10

月 日	会 議 等 の 名 称	出席職員数
6/22	事故防止対策委員会	11
	研修委員会	5
	接遇委員会	2
	ユニットリーダー会議	8
6/25	褥瘡予防対策委員会	3
6/27	サービス担当者会議	2
7/1	職員互助会	6
7/3、4、5、10 12	ユニット会議	21
7/3	サービス担当者会議	2
7/7	サービス担当者会議	2
7/8	サービス担当者会議	2
7/10	サービス担当者会議	2
7/11	サービス担当者会議	3
7/12	各部署代表者会議	5
7/18	サービス担当者会議	2
7/19	サービス担当者会議	2
	職員会議	7
	安全衛生対策委員会	7
	給食会議	6
	ユニットリーダー会議	7
7/21	身体拘束廃止委員会	5
7/23	広報委員会	2
8/1、2、7、9	ユニット会議	18
8/2	身体拘束廃止委員会	4
	事故防止対策委員会	7
8/8	サービス担当者会議	2
8/11	各部署代表者会議	4
8/16	感染症予防対策委員会	4
	サービス担当者会議	2
9/4、5、6、11 12、13	ユニット会議	29
9/5	各部署代表者会議	5
9/6	サービス担当者会議	2
9/16	各部署代表者会議	5
9/20	サービス担当者会議	3
	各部署代表者会議	6
	職員会議	11
	安全衛生対策委員会	11
	給食会議	10
	事故防止対策委員会	8
	介護職員全体会議	17
	ユニットリーダー会議	8
9/21	サービス担当者会議	3
9/25	サービス担当者会議	2
10/3、4、9、10 11	ユニット会議	26
10/11	サービス担当者会議	3
	事故防止対策委員会	7
	各部署代表者会議	6

月 日	会 議 等 の 名 称	出席職員数
10/18	職員会議	11
	安全衛生対策委員会	11
	給食会議	9
	事故防止対策委員会	10
	事故防止対策委員会	8
	ユニットリーダー会議	8
10/22	広報委員会	4
10/23	各部署代表者会議	5
10/30	各部署代表者会議	6
10/31	サービス担当者会議	3
11/1	サービス担当者会議	2
	各部署代表者会議	6
11/6、7、8、11 14、29	ユニット会議	23
11/6	各部署代表者会議	4
	入所検討委員会	4
11/9	各部署代表者会議	4
11/10	サービス担当者会議	2
	行事委員会	3
11/15	サービス担当者会議	2
	苦情解決津委員会	4
	職員会議	9
	安全衛生対策委員会	9
	給食会議	9
	感染症予防対策委員会	7
	認知症ケア委員会	5
ユニットリーダー会議	8	
11/22	防火管理委員会	5
	防犯対策チーム会議	5
11/24	サービス担当者会議	2
11/29	入所検討委員会	3
12/1	サービス担当者会議	2
12/4、5、6、12 13	ユニット会議	23
12/11	サービス担当者会議	2
12/12	サービス担当者会議	2
12/14	職員互助会会議	6
12/20	事故防止対策委員会	8
	事故防止対策委員会	10
	事故防止対策委員会	10
	職員会議	9
	安全衛生対策委員会	9
	給食会議	7
	人権擁護、虐待防止委員会	44
ユニットリーダー会議	8	
12/29	サービス担当者会議	2
12/31	サービス担当者会議	3
1/1	サービス担当者会議	2
1/2、8、9、10 24	ユニット会議	27
1/3	サービス担当者会議	2

月日	会議等の名称	出席職員数
1/8	サービス担当者会議	2
1/9	サービス担当者会議	2
1/11	褥瘡予防対策委員会	5
	腰痛予防対策チーム会議	3
	広報委員会	4
1/17	入所検討委員会	4
	職員会議	9
	安全衛生対策委員会	9
	給食会議	9
	接遇委員会	2
	ユニットリーダー会議	8
1/22	サービス担当者会議	3
1/23	サービス担当者会議	2
2/6	職員互助会会議	4
2/6、7、9、12、14、	ユニット会議	23
2/10	各部署代表者会議	4
2/14	サービス担当者会議	2
	事故防止対策委員会	10
	事故防止対策委員会	9
	防火管理委員会	5
	防犯対策チーム会議	5
	職員会議	11
	安全衛生対策委員会	11
	給食会議	11
	感染症予防対策委員会	8
	ユニットリーダー会議	8
身体拘束廃止委員会	4	
2/21	サービス担当者会議	4
	入所検討委員会	3
2/24	身体拘束廃止委員会	5
3/5、11、12、17、24	ユニット会議	26
	各部署代表者会議	6
	安全衛生対策委員会	3
	サービス担当者会議	2
3/6	職員会議	8
	給食会議	8
	研修委員会	4
	介護職員全体会議	15
	身体拘束廃止委員会	4
	ユニットリーダー会議	8
3/20	サービス担当者会議	2
3/21	行事委員会	5
3/24	腰痛予防対策チーム会議	3
3/27		

※年間の開催数

職員会議11回
給食会議11回
各部署代表者会議16回
サービス担当者会議49回
接遇委員会2回
互助会会議6回
入所検討委員会5回
身体拘束廃止委員会6回
苦情解決委員会1回
ユニット会議12回
ユニットリーダー会議11回
腰痛予防対策チーム会議2回
人権擁護・虐待防止委員会2回
介護職員全体会議2回

褥瘡予防対策委員会2回
研修委員会2回
安全衛生対策委員会11回
認知症ケア委員会2回
防火管理委員会2回
防犯対策チーム会議2回
感染症予防対策委員会4回
行事委員会2回
広報委員会4回
事故防止対策委員会17回

20 外部会議等の状況

月	日	開催地	会議等の名称	出席職員数
	15	熊野市有馬町	社会福祉法人杏南会監事監査	1
5	25	熊野市有馬町	社会福祉法人杏南会理事会	2
	30	熊野市井戸町	雇用主説明会	1
6	15	熊野市有馬町	社会福祉法人杏南会理事会	2
12	14	熊野市有馬町	社会福祉法人杏南会理事会	2
3	14	熊野市有馬町	社会福祉法人杏南会理事会	2

22 広報活動・預り金報告・入居者等懇談会状況

広報活動

発 送		発 送 先	備 考
月	日		
5	16	たちばな園同様	
8	4		
11	11		
1	31		

預り金報告状況

発 送		報 告 状 況	備 考
月	日		
5	16	家族へ送付 53通 手渡し 2通	
8	4	家族へ送付 54通 手渡し 1通	
11	11	家族へ送付 47通 手渡し 2通	
1	31	家族へ送付 46通 手渡し 2通	

入居者懇談会

月	日	参 加 状 況
6	15	お客様懇談会(1階) お客様14名 職員1名

23 職員採用・退職の状況

採用

No.	採用年月日	職種	性別	年齢	採用理由
1	2023/06/21	介護職員(パート)	女	35	補充
2	2023/06/21	介護補助職員(パート)	女	38	補充
3	2023/06/21	看護職員(パート)	女	62	補充
4	2023/09/01	介護職員(パート)	女	42	補充
5	2023/09/01	盛付等補助職員(パート)	女	46	補充
6	2023/11/01	介護補助職員(臨時)	女	45	補充

※年齢は、採用時の年齢

退職

No.	退職年月日	職種	性別	年齢	退職理由	勤続年数
1	2023/07/20	介護職員(臨時)	女	57	自己都合退職	7.1年
2	2023/11/30	介護職員(臨時)	男	68	自己都合退職	7.6年
3	2023/12/31	介護職員(嘱託)	女	64	自己都合退職	8.11年
4	2024/01/31	事務職員(正規)	男	29	自己都合退職	1.2年
5	2024/01/31	盛付等補助職員(パート)	女	71	自己都合退職	4.9年
6	2024/03/31	看護職員(正規)	男	60	定年退職	18.3年
7	2024/03/31	介護補助職員(パート)	女	75	契約職員就業規則第5条第4項の規定により退職	4.8年
8	2024/03/31	宿直職員(アルバイト)	男	75	契約職員就業規則第5条第4項の規定により退職	9.2年

※年齢は、退職時の年齢

24 防災訓練等の実施状況、主な修繕工事等の状況、その他の状況

防災訓練等の実施状況

区 分	実 施 月 日	消防署事前通報	消防署立会	記 録
基 礎 訓 練	4 月 26 日	有	有	有
夜間想定総合訓練	5 月 25 日	有	無	有
不審者侵入対策防犯訓練	7 月 26 日	無	無	有
基 礎 訓 練	9月9日～10月9日	有	無	有
夜間想定総合訓練	12 月 11 日	有	有	有
福祉避難所運営訓練	1 月 17 日	無	無	有
部 分 訓 練	2 月 21 日	有	無	有

※消防署立入検査なし

主な修繕工事等の状況(税込み50万円以上の修繕工事等)

工事名等	金 額(税込み)	業者名
なし		

その他の状況

月	日	内 容
6	7	新型コロナワクチン予防接種 職員15名 お客様31名
	8	熊野労働基準局立ち入り調査
	12	新型コロナワクチン予防接種 お客様1名
7	27	夜間勤務職員健康診断 職員22名
10	11	新型コロナウイルスワクチン予防接種 職員11名 お客様9名
	18	新型コロナウイルスワクチン予防接種 職員8名 お客様32名
11	4	福祉・介護・保育のしごとフェア 職員1名
	19	インフルエンザ予防接種 お客様47名
	27	施設内床洗浄・ワックス
	28	
1	25	お客様健康診断47名
	26	職員健康診断(腰部レントゲン撮影) 介護職員27名
2	1	職員健康診断 全職員名
	6	診療所立ち入り検査 熊野保健所職員2名
	16	お客様1名100歳お祝い 市職員2名、市社協職員2名

※11月16日までのハローワーク(尾鷲・熊野・新宮)ミニ就職面接会出席 職員1名